

Year Book 2022

九州から世界へ!!
イノベーションの架け橋をつなぐ!!



Kyushu Open Innovation Center

KOIC

KYUSHU OPEN INNOVATION CENTER



一般財団法人 **九州オープン
イノベーションセンター**

Year Book 2022 の発刊に寄せて



(一財)九州オープンイノベーションセンター (KOIC)
会長 瓜生 道明

2022 年度を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻、米中対立の深刻化、燃料や原材料価格の高騰、急速なドル高・円安など社会情勢が大きく変化する年となりました。このような中であって、KOIC では昨年度に引き続きDX（デジタルトランスフォーメーション）に着目し、オープンイノベーションによってグローバル化および技術開発とベンチャーの創出を推進するとともに、変革を牽引する人材の育成等の各種事業を、新型コロナウイルス感染防止対策に留意しつつ計画通り実施することができました。

幾つかの事業について触れますと、世界のオープンイノベーション拠点との交流事業では、九州に近く従来から経済交流が活発で、いち早くデジタル化の取り組みが進む台湾に「台湾オープンイノベーションミッション」を派遣しました。また、大学のシーズからベンチャー企業を創出し産業化に向け支援していく九州・大学発ベンチャー育成支援事業を九州・大学発ベンチャー振興会議の事務局として運営し、ギャップ資金の提供等を行いました。さらに、サイバー攻撃が多発し社会、生産活動に大きな障害が発生していることを受け、九州経済産業局と連携して「DX with Cybersecurity 推進セミナー」を開催しました。

九州の戦略産業の振興では、環境・エネルギー分野、ヘルスケア分野、半導体・エレクトロニクス分野の各団体の支援を行いました。TSMCの工場進出を契機として活況となっている半導体分野では、NEDOの「特定半導体の安定供給体制の構築・維持に必要な人材の育成及び確保並びにサプライチェーンの強靱化に関する調査」事業を受託、実施しました。また、九州の産業成長戦略である「九州Earth戦略II」実現の一助として、オープンイノベーションによるモノづくり基盤や先端技術等の事業化を通じたイノベーションの創出に向け、中小企業の課題をお聞きするニーズ調査、課題解決に向けたプロジェクトメイク、プロジェクトの実施内容を磨くブラッシュアップ検討会、経済産業省の補助事業を活用した技術開発支援、事業化に向けた展示会出展など、入口から事業化まで一貫した伴走支援にも取り組みました。

人材育成事業では、DXを経営に取り入れるには経営者層の理解こそが重要との考えで始めた「九州デジタル経営塾」は2022年度で九州各県での開催が一巡し、次世代を担う人材向けの「九州ネクストリーダー塾」、事業計画作成の実践講座「九州オープンDXアカデミー」もDXをテーマに開催しました。また、KOIC設立3年目を迎え、地域の皆様に認知度を高めていただくため、ホームページ、メルマガ、SNS、Web広告などの手法で情報発信力の向上にも取り組みました。

KOICは、「課題解決先進地域九州」を実現すべく、オープンイノベーションの手法により、地域の皆様からの信頼と期待に応えることのできる広域的な産業支援機関としての役割を果たして参ります。九州経済産業局、産業技術総合研究所九州センター、中小企業基盤整備機構九州本部、九州経済連合会等の関係機関とも密接に連携し、賛助会員をはじめ、頑張る中堅・中小企業のために事業を展開して参りますので、これからも皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

目 次

Year Book2022 の発刊に寄せて（会長挨拶）

	頁
I. 運営概要	1
II. 設立趣旨	2
III. 沿革	2
IV. 事業概要	3
1. 振興支援事業	3
(1) オープンイノベーションによる新事業創出支援事業	3
①世界のオープンイノベーション拠点との交流事業	3
②九州デジタルトランスフォーメーション（DX）研究会	4
③SDGs 経営実践研究会	5
(2) 九州・大学発ベンチャー育成支援事業	7
(3) 九州・大学発ベンチャービジネスプランコンテスト支援事業	9
(4) DX 推進事業（九州IoTコミュニティ事業）	10
(5) 九州の戦略産業の振興	12
①環境・エネルギー分野（K-RIP 事業）	12
②医療機器関連・ヘルスケア分野（HAMIQ 事業）	14
③半導体・エレクトロニクス分野（SIIQ 事業）	14
2. 産業技術振興事業	15
(1) オープンイノベーションによる産業技術の振興	15
①九州オープンイノベーション情報サイト事業	15
・オープンイノベーション・ソリューション・サイト(OISS)の運営	
・企業データベースの整備	
・オープンイノベーションセミナー	
②九州イノベーション創出戦略会議（K I C C）	16
・通常総会・特別講演会の開催	
・KICC ホームページの更新	
・KICC 構成機関との意見交換	
・大手企業の技術ニーズ説明会	

(2) 九州 Earth 戦略に基づくイノベーション創出事業	17
①委員会、会議等による事業統括・管理	18
②コーディネータによる企業支援	18
・コーディネート活動	
・機械工業振興チャレンジ研究調査	
・セミナー・ニーズ説明会・成果報告会・展示会出展	
(3) 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）	20
(4) 他機関との連携事業	21
3. 普及啓発事業	22
(1) 九州異業種交流会	22
(2) 九州経済を考える懇談会	23
(3) 地域技術交流事業	23
①九州・沖縄地区国立大学法人産学官連携関連センター長等会議	23
(4) カーボンニュートラル普及啓発事業	23
①展示会出展	23
②会議開催	24
③台湾へのミッション派遣	24
4. 人材育成事業	25
(1) 九州デジタル経営塾	25
(2) 九州ネクストリーダー塾	26
(3) 若手研究者海外研究交流支援事業	27
5. 情報提供事業	28
(1) WEB サイト等による情報発信	28
(2) 活字媒体による情報発信	28
6. 収益事業	28
(1) 成功報酬型コーディネート事業	28
①活動実績	29
②成功報酬型の契約と報酬実績	29
(2) 産業技術事業化支援事業	30
戦略産業の振興	31

I. 運営概要

1. 名称 一般財団法人 九州オープンイノベーションセンター
英文表記 Kyushu Open Innovation Center 略称：KOIC

2. 設立 令和2年4月1日

3. 設立目的

九州地域において、オープンイノベーション等による産業技術の振興及び新技術の創出に関する諸事業を総合的かつ効率的に推進することにより、九州地域の活性化を図り、もって我が国経済の健全な発展に寄与することを目的としています。

4. 事業内容

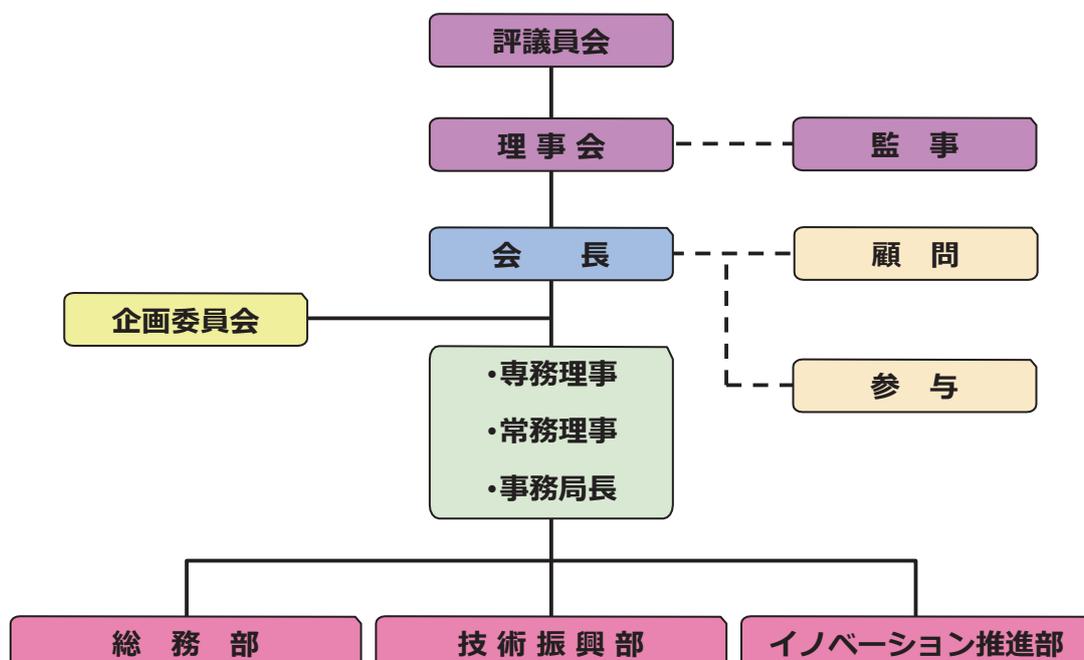
イノベーション等に関する支援
産業技術の振興に関する支援
新事業の創出に関する支援
その他この法人の目的を達するための必要な事業

5. 所在地 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番24号
電話 092 (411) 7391 (代表) F A X 092 (472) 6609
Web Site <https://www.koic.or.jp>

6. 敷地及び建物

敷地	敷地面積	263.82 m ²	
建物	建築面積	199.80 m ²	延床面積 603.76 m ²
	鉄骨造	地上3階建	

7. 組織



2023.4.1日現在

II. 設立趣旨

一般財団法人九州産業技術センターは、1985（昭和 60）年 6 月に設立以来、産業技術の普及、啓発等に関する諸事業を総合的、かつ効率的に推進することにより、九州地域における産業技術の振興を図ることで、技術の高度化や新産業技術の発展に貢献してきた。

一方、1987（昭和 62）年 12 月に設立された一般財団法人九州地域産業活性化センターは、九州地域における産業の活性化に関するグランドデザインの調査研究及び大学発ベンチャー、IoT 事業、女性活躍事業等の推進による新事業の創出を通じ、九州の産業の活性化に貢献してきた。

しかし、近時の経済社会の変化は、両センターのこれまでの事業では解決できないほどの大きな変化に直面している。

特に、市場の成熟化と多様性に加え、あらゆるモノがインターネットに繋がり、情報がやりとりされ、その情報が価値を生み出すデジタル化とグローバル化の進展を背景として、技術革新のスピードが早まっている。この様な中で、カスタマイゼーション、シェアリングビジネス、データエコノミーなどの新事業やビジネスが発生している。

また、人口減少と少子高齢化等の社会的な課題を解決するための生産性向上、人材の育成、新製品・サービスの開発なども急務となっている。

この様な経済社会の大きな変化に対し、単独の企業の経営資源のみでの対応には限界があり、外部の経営資源と組み合わせて、時代のニーズや課題に即応した新商品やサービス及び新たな価値を創出するオープンイノベーションが期待されている。

この様な期待に応えるため、オープンイノベーションの視点から、両財団の技術開発支援機能や産学連携による新事業創出機能、グランドデザインの調査機能や新事業創出機能を統合し、新たにオープンイノベーション機能を追加し、国内外の市場動向の把握から技術開発・産学連携・人材育成まで一貫した事業化支援機能を有した新組織（プラットフォーム）を設立する。

III. 沿革

平成 30（2018）年 10 月	九州オープンイノベーションセンター構想研究会（仮称）設置
平成 30（2018）年 11 月	第 1 回九州オープンイノベーションセンター構想研究会開催 （議長;九州電力㈱代表取締役会長 瓜生道明）
平成 31（2019）年 2 月	第 2 回九州オープンイノベーションセンター構想研究会開催
平成 31（2019）年 4 月	第 3 回九州オープンイノベーションセンター構想研究会開催
平成 31（2019）年 4 月	合併合意覚書締結 （一般財団法人九州産業技術センターを存続法人、一般財団法人九州地域産業活性化センターを消滅法人として吸収合併する）
令和 2（2020）年 4 月	名称変更登記、合併届出提出（内閣府） 九州オープンイノベーションセンター開所式開催
令和 2（2020）年 9 月	合併届出承認（内閣府）

IV. 事業概要

1. 振興支援事業

(1) オープンイノベーションによる新事業創出支援事業

① 世界のオープンイノベーション拠点との交流事業

九州は台湾に近いという地理的優位性を有し、従来から台湾との経済交流が進められてきたところであり、台湾はコロナ禍の現状において、いち早くデジタル化に取り組み、コロナの封じ込めに成功している。

こうした台湾における経済、社会、企業などのDX化の状況を調査・視察し、台湾企業との交流・連携を目的に「台湾オープンイノベーションミッション」を派遣した。

■ 台湾オープンイノベーションミッション概要

開催日	内容			
2月8日～ 2月11日 参加者:24名	台湾オープンイノベーションミッション2023 スケジュール			
	日	時間	内容	備考
	8日 (水)	12:00-14:45	福岡空港国際線ターミナル 3F Bカウンター前集合 JX0841 福岡 (14:45) ⇒台北(16:30)	スターラックス航空
		19:00-	ホテル着後、中華民国工商協進会との懇親会	ホテルロイヤルニッコー台北泊
	9日 (木)	9:00-	ホテル出発	
		9:30-10:30	日本台湾交流協会 ・台湾の政治経済の現況、DXの推進状況の説明	
		11:00-12:00	台湾政府経済部国際貿易局 ・フォーラム主催者からの日台の経済情勢の説明	
		昼食		
	10日 (金)	14:00-17:30	「九州・台湾経済交流フォーラム2023」 ー半導体・デジタル分野における 新たな連携強化に向けてー	国際会議センター1F
		17:45-19:45	経済交流フォーラム夕食交流会	国際会議センター2F @JADE ホテルロイヤルニッコー台北泊
	11日 (土)	7:45	ホテル出発	
		9:30-10:30	新竹サイエンスパーク ・新竹サイエンスパークの概要	
		11:00-12:00	企業訪問 (AUO Digitech Taiwan)	
		昼食	新竹近辺	
11日 (土)	14:00-15:30	工業技術研究院 (ITRI) ・九州半導体人材育成コンソーシアムと合流 ・ITRI 概要説明		
	夕食		ホテルロイヤルニッコー台北泊	
11日 (土)	7:15-10:30	ホテル出発 JX0840 台北 (10:30) ⇒福岡(13:45)	※朝食はバス車中にて スターラックス航空	



台湾オープンイノベーションミッション
— 台湾のDX(デジタルトランスフォーメーション)に学ぶ —

1. 概要・目的
台湾に近しい地理的優位性を有する九州は、従来から、台湾との経済交流が進められてきたところであるが、コロナ禍の状況において、いち早くデジタル化に取り組み、コロナ禍に備えて台湾における経済・社会・企業などのDX化の状況を実地・実践し、台湾企業との交流・連携を図りたいというミッションを遂行します。
特に、今回のミッションでは、九州半導体人材育成等コンソーシアム(事務局:SIQ)と協力して現職においてデジタル・半導体企業等との経済交流を実施するなど、さらには、台湾経済総局とMOUを締結しているSIQ、さらにはK-SDPやIAMIQなどの新進クラスター、九州経済産業協会MOUを締結している中華民国工業協会等の経済団体と連携し事業を進めています。

2. 日程
2023年2月8日 開会式(福岡出発) ~ **11日** 閉会式(福岡帰) **3泊4日**

3. ミッション団の構成
● 団長 渡辺 隆明 一般財団法人九州オープンイノベーションセンター会長
● 副団長 長谷川 裕一 株式会社はせがわ 相談役 (一般社団法人九州ニュービジネス協議会副会長)
● 企業 (15社程度)
台湾のデジタル技術、デジタル経営に学び、自社のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進の参考にしたい企業、台湾企業・スタートアップとの連携によりデジタル経営に取り組みたい企業などを対象とします。
※現地では九州半導体人材育成等コンソーシアム(40名程度)と合同の行事も予定しています。

4. 募集人員
15名程度 (定員になり次第〆切とさせていただきます)

5. 参加費用
おひとりさま 30万円程度 (エコノミークラス/機内見物)
※参加費は、お申し込み人数や航空券の予約状況によって変動します。 ※ビジネスクラス追加料:60,000円
※現地バスツアーも確定後に代金追加のご連絡致します。 (※定員に限りがあります)

6. 申込〆切
2022年12月23日 至 (丸電旅行サービス 必着)
(主 催) 一般財団法人九州オープンイノベーションセンター、中華民国工業協会(九州・台湾経済交流フォーラム2023)
(協 力) 一般社団法人九州経済産業協会、一般社団法人九州ニュービジネス協議会、公益財団法人日本台湾交流協会、台北経済文化センター、台湾貿易センター(TAITRA)等
(後 援) 日本貿易振興機構(JETRO)



② 九州デジタルトランスフォーメーション (DX) 研究会

本研究会 (座長: 村上九大名誉教授) の一環として、昨年同様、(株)DXパートナーズ (以下DXP) とデジタル変革 (DX) に挑戦する企業の実践面での支援、およびDX人材の育成を目的とした「九州オープンDXアカデミー (以下、DXアカデミー)」の「第2期DXゼミルーム」を開講した。

DXゼミルームとは、DXに挑戦中の企業 (DXチャレンジャー) を対象に“新規事業 by DX”を目標に、DXチャレンジャーとDXアドバイザー (=DXP) とが、アイデア出しとコメント返しの基本となる過程を繰り返し実践し、DX実装モデルを具体的に構築していこうとするもの。DXゼミルームメイトは、その模様をオンラインで視聴して学習するもので有料で募集した。

DXチャレンジャーとDXゼミルームメイトは相互にWeb上で交流することができ、このゼミを通じて知り合った人同士が共同事業などを立上げるなど、オープンイノベーションの一助となることを目指して開講した。

■九州オープンDXアカデミー概要

DXチャレンジャー	有限会社新福青果	株式会社ミスターマックス・ホールディングス
DXゼミルームメイト	7名	9名
ゼミ実施回数・時間	<ul style="list-style-type: none"> 1/11~3/1の毎水曜日に合計8回 各回ともに、事前課題に取り組んで頂いた上で、2時間/回のゼミを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1/6~3/10の毎金曜日に合計8回 各回ともに、事前課題に取り組んで頂いた上で、2時間/回のゼミを実施

九州デジタルトランスフォーメーション(DX)研究会主催
九州オープンDXアカデミーのご紹介及び
第2期「DXゼミルームメイト」の募集

「九州オープンDXアカデミーとは」
デジタル時代、プロセスをITでつなげる新しいオープンイノベーションの方法論、新しい学びのカタチを具体化し
誰でも受講可能(オープン)かつオンラインで提供される「DX技能と学びの場 オンライン」!!!

DXゼミルームメイトとは
DXゼミルームメイトとは、DXゼミルームメイトの学びの場をオンラインで提供するサービスです。
DXゼミルームメイトの学びの場をオンラインで提供するサービスです。
DXゼミルームメイトの学びの場をオンラインで提供するサービスです。

このたび、DXアカデミー内に第2期ゼミルームを開設いたしましたので、「DXゼミルームメイト」の募集をいたします。
※DXゼミルームメイトとは
DX 実践やDX に関する新事業創出法を学びたい個人や法人を対象に、「DX 学びの場」を提供します。DX に挑戦中の企業
を支援した「DX 学びの場」で、「新事業 by DX」を目指す。DX チャンレンジャーとDX アドバイザーとが「アイデア出しとコメン
ト出しの場」をオンラインで提供し、DX ゼミルームに参加して、オンラインで学びます。
同時に、ビジネスチャットツールでDX チャンレンジャーやDX アドバイザー、他のDX ゼミルームメイトと繋がります。また、
さらに学びを深めることができます。

開催予定日時	有限会社 新福青果	株式会社ミスターマックス・ホールディングス
(1) 1月11日(水) 15:00 - 17:00	(1) 1月 6日(金) 15:00 - 17:00	(2) 1月13日(金) 15:00 - 17:00
(2) 1月18日(水) 15:00 - 17:00	(2) 1月13日(金) 15:00 - 17:00	(3) 1月20日(金) 15:00 - 17:00
(3) 1月25日(水) 15:00 - 17:00	(3) 1月20日(金) 15:00 - 17:00	(4) 2月 3日(金) 15:00 - 17:00
(4) 2月 1日(水) 15:00 - 17:00	(4) 2月 3日(金) 15:00 - 17:00	(5) 2月10日(金) 15:00 - 17:00
(5) 2月 8日(水) 15:00 - 17:00	(5) 2月10日(金) 15:00 - 17:00	(6) 2月24日(金) 15:00 - 17:00
(6) 2月15日(水) 15:00 - 17:00	(6) 2月24日(金) 15:00 - 17:00	(7) 3月 3日(金) 15:00 - 17:00
(7) 2月22日(水) 15:00 - 17:00	(7) 3月 3日(金) 15:00 - 17:00	(8) 3月10日(金) 15:00 - 17:00
(8) 3月 1日(水) 15:00 - 17:00	(8) 3月10日(金) 15:00 - 17:00	

参加方法
DXゼミのライブZoom
アプリはZoom
アプリはZoom
アプリはZoom

参加費
おひとり0.000円(税別) / 1名

定員
200名 / 1名

申込締切
令和5年3月17日(金)

主催
一般社団法人九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、公益財団法人九州経済調査協会

九州デジタルトランスフォーメーション(DX)研究会主催
九州オープンDXアカデミーのご紹介及び第2期「DXゼミルームメイト」の募集

DXチャンレンジャー(50名)および「新事業 by DX」テーマ
有限会社 新福青果
青果流通のDXによるバーチャルマーケット構築
株式会社ミスターマックス・ホールディングス
パブリックチェーンからパブリックチェーンへ、お客様と繋がるOMO構築

DXアドバイザー DXPのDXアドバイザー陣

村上和彰
株式会社DXパートナーズ
シニアパートナー 代表取締役
国立大学法人九州大学 名誉教授
事業構想大学院大学 専員教授
京都大学博士(工学)

横田英史
株式会社DXパートナーズ
アドバイザーパートナー
(一社)福地みくま技術協会 理事

山田淳児
株式会社DXパートナーズ
シニアパートナー 取締役
公益財団法人九州先端科学技術研究所
特別研究員

徳永美紗
株式会社DXパートナーズ
アドバイザーパートナー
Code for Fukuoka 代表

さらに、DXチャンレンジャーの業種業態、業界に応じたDXアドバイザーをお呼びすることも予定しています。

KOICでは、経営者向けの「九州デジタル経営塾」、次代を担うリーダー、経営幹部向けの「九州ネクストリーダー塾」で、DXに対する理解を深めていただき、この「DXゼミルーム」で、具体的な手法を学んでいただくことを目的とします。

九州オープンDXアカデミーの詳細については、右のQRコードを読み込んでください。

九州オープンDXアカデミー 前回(第1期「DXゼミルーム」)の様子

第1期DXチャンレンジャー企業

株式会社アイ・ビー・ビー
https://www.koic.or.jp/event/event-2042/

エコー電子工業株式会社
https://www.koic.or.jp/event/event-2077/

お申込みはこちら
「アカデミーメンバー」登録兼「DXゼミルームメイト」申込みフォーム
https://forms.gle/ox5MkehYfgv2k3LC7

③ SDGs 経営実践研究会

地域企業のSDGs経営の導入を支援するため、「九州SDGs経営推進フォーラム(事務局:九州経済産業局)」と連携しながら、SDGsの基本理念や意義、思考法を理解・共有するためのオンラインセミナーと専門家によるワークショップ形式の研究会を開催した。

熊本県内企業10社が参加した研究会では、専門家によるアドバイスやプロセスの検証を行いながら、参加企業各社のSDGsブランディングに基づいた実践計画案を策定した。

令和5年2月には、長崎県と共催で長崎県内企業向けセミナー「SDGs経営推進セミナー」(ハイブリッド開催 現地:20名、オンライン:133名が参加)を開催した。

また、地方自治体が有する医療・ヘルスケア分野の課題を民間の知見や事業開発力を活用して社会実装につなげるマッチング等の機会を提供し、成功モデルの創出に向けた活動を支援した。8月29日・30日に開催された「ガバメントピッチ」には、九州から入吉市と臼杵市が参加し、当該自治体と協創・連携を希望するヘルスケアベンチャーとのマッチング協議をコーディネーターする専門家を派遣した。

加えて、地域の持続可能性につながる新たな取り組みやビジネスモデル構築を後押しするため、「地域課題解決ソーシャルビジネス事業」として地域・社会課題解決に向けた実装事業を支援した*。(※福岡地域戦略会議(FDC)が推進する事業から1件支援)

■九州 SDGs 経営実践研究会の開催概要

回数	開催地	開催日	内容
お初めセミナー	—	8月 8日	SDGs の基本理念、経営導入のための思考法、取り組む意義を共有
第1回	熊本県	9月12日	社内プロジェクトの立上げ、コア・コンピタンス選定
第2回		11月 7日	バリューチェーン分析、SDGs ブランディング
第3回		12月19日	参加企業各社のSDGs ブランディング計画案の策定
セミナー	長崎県	2月10日	「SDGs 経営推進セミナー」の開催

経営層および実務担当者の方、必見

SDGs経営推進セミナー

～民間企業のSDGsの推進に向けたチャレンジ～

ハイブリッド開催
 【現地】出島メッセ長崎 ※定員80名
 【オンライン】Microsoft Teams ※定員150名

参加費無料
先着順

2023.
2/10(金)
15:10～

◆ファシリテーター



九州SDGs経営推進フォーラム
コーディネーター 原口 唯 氏

【ご紹介】デザインとマネジメントを通じて、人間と都市の魅力が最大化されることを目標に活動。株式会社YOUI代表取締役。長崎大学FFGアントレプレナーシップセンター准教授。九州大学科学技術イノベーション政策教育センター客員准教授。

◆取組紹介企業(2社)



株式会社ワイビーエム
代表取締役社長 吉田 力雄 氏

【ご紹介】建設・土木・鉱山・環境関連の機器メーカー(佐賀県唐津市)。「地下と水の技術で明日の美しい地球環境づくり」への貢献に向けて、2022年度の経営重点方針の一つに「SDGsの実装」を入れて活動を展開中。



九州教具グループ
代表 船橋 修一 氏

【ご紹介】オフィスソリューション事業、ホテル事業、ウェルネス事業を中心に、オフィスのインフラ構築やホテル運営を行う(長崎県大村市)。「誠実にして、正確を旨とし、社会に貢献すべし」という企業理念のもと、活動を展開中。

このような方にオススメ!

- 企業のSDGsに関する取組事例が知りたい
- SDGs経営の導入方法やプロセスが知りたい
- SDGsを推進することで新たに広がるビジネスについて知りたい



■ヘルスケア分野における地域課題解決型マッチング事業

事業名	概要	実施団体
ヘルスケア分野における地域課題解決型マッチング事業	ヘルスケア分野における地域課題解決に挑戦する自治体と当該自治体との協創・連携を希望するヘルスケアベンチャーをマッチングし、次年度以降の実証に向けた骨子策定に至る各作業プロセスを深掘り・整理するため、専門家による伴走支援を実施した。	(株)官民連携事業研究所

■ SDGs 地域課題解決ソーシャルビジネス事業

事業名	概要	実施団体／実施地
「MUSUBU スクール宮若」の実現に向けた社会実装事業	宮若市は、子育て世代にとって、学びの選択肢や学習塾が少なく市外の塾への送迎負担が大きいことが課題となっており、利便性を求めて市外への転出傾向が顕著である。この課題を解決するため、放課後の学校で多様な学びの場を提供することで、子供の選択肢・可能性を広げ、保護者の送迎負担を軽減するための「MUSUBU スクール宮若」事業をスタートした。宮田北小学校（10名）、宮田南小学校（18名）、宮若東中学校（2クラス55名）の各教室で英進館による放課後授業（1コマ60分）を延べ48回実施した。	九州大学産学官民連携セミナー「地域政策デザインスクール」実行委員会 宮若市

(2)九州・大学発ベンチャー育成支援事業

大学発ベンチャー企業創出のため、九州・沖縄の大学、産業界、ベンチャーキャピタルをつなぐプラットフォームとして、平成29年に設立された「九州・大学発ベンチャー振興会議※（事務局：K O I C）」は、ギャップ資金やアントレプレナーシップ教育等の提供を行い、大学のシーズからベンチャー企業を創出するエコシステムの構築を図ってきた。

今年度からは、国立研究開発法人科学技術振興機構（J S T）の大学発新産業プログラムに採択された15大学のプラットフォーム（通称P A R K S。主幹機関：九州大学、九州工業大学）と連携することにより、さらなるエコシステムの充実を図った。

8月は、実務担当者による「第7回九州・大学発ベンチャー振興実践会議」を開催し、13大学から24件のシーズが提出され、また令和2年度から始めた企業のニーズから大学のシーズを探索しマッチングさせる事業については、12企業から24件のニーズが提出された。

その後、企業からのギャップ資金提供の調整を行い、1月に24件の大学のシーズに対し2,350万円を提供した。（うちK O I Cは、12件に700万円を提供）

また、24件の企業ニーズに対し29件の大学シーズが提出され、27件のマッチングを行い、4件が共同研究開始予定、9件が協議継続中。なお、令和2年度のマッチングの中から2件の共同研究が開始された。

2月には、代表者による「第7回九州・大学発ベンチャー振興会議」を開催し、今年度の活動報告を行い、来年度も同様の活動を行うことが承認された。

※九州・大学発ベンチャー振興会議（令和4年12月末現在）：13大学、20企業、11金融機関、2VC、6経済団体で構成



■ 振興会議にシーズを提出後、設立されたベンチャー企業（21社）

No.	大学	研究開発の名称	提出年度	設立企業名	企業設立時期
1	九州大学	九大カイコバイオリソースと昆虫工場を用いた難発現性タンパク質の大量生産システム	H29年度	KAICO(株)	H30年4月
2	福岡大学	不妊症における治癒不能な子宮内膜着床不全の治療法の開発	H29年度	(株)キュベレ	H30年8月
3	九州大学	接触圧センサ体ウェアラブル血流計血流計の開発	H29年度	Palmens(株)	H31年3月
4	宮崎大学	宮崎県沿岸域における循環型サクラマス養殖生産事業の定着化	H30年度	(株)Smolt	H31年4月
5	九州工業大学	柔軟膜で包み込んで対象物を把持する新しいロボットハンドの開発	H29年度	KiQ Robotics(株)	H31年4月
6	宮崎大学	高機能性ヒト抗体開発シーズ	H30年度	MabGenesis (株)	R元年6月
7	佐賀大学	座圧軽減装置“フワット”の販売事業	R元年度	(株)山城機巧	R元年8月
8	宮崎大学	増殖困難な果樹台木苗の作成	R元年度	(株)RIFNUM	R元年10月
9	九州大学	生態学を体験して学ぶための教育支援アプリケーション開発	R元年度	(株)サイエンスグルーヴ	R元年10月
10	九州工業大学	介護系行動認識システム及び行動認識技術の汎用化プラットフォームの開発	H30年度	(合)AUTOCARE	R2年2月
11	九州大学	音声明瞭化技術	R元年度	サウンド(株)	R2年4月
12	宮崎大学	楽しみながら「ロコモ」を改善するロボットシステム	R2年度	LOCOBOT(株)	R2年7月
13	九州大学	燃焼後排ガスからCO ₂ を低コストに分離し貯留、供給する装置	R2年度	(株)日本炭素循環ラボ	R2年12月
14	琉球大学	海藻養殖における夏場の海水冷却システムの開発	R元年度	(株)リテックフロー	R元年11月
15	佐賀大学	AS Order：キャッシュレス決済で「安心モバイルオーダー」を地方から	R3年度	(株)AS	R2年10月
16	鹿児島大学	古い機器画面の目盛りをデジタルデータに変換する事業－反射光除去OCR技術	R3年度	(株)メタシステム研究所	R3年6月
17	福岡大学	全身投与可能なステルス化腫瘍溶解性ウイルスの開発及び社会実装	R3年度	JOCAVIO(株) (ヨカヴィオ)	R3年8月
18	熊本大学	Staple 核酸	R3年度	(株)Staple Bio	R3年11月
19	長崎大学	病気を媒介する昆虫対策に必要な研究・フィールドワーク用品の開発とその商品化	R2年度	(株)フィールドワーカーズ	R4年6月
20	琉球大学	小学生向け グローバル型 探求学習プログラムの開発及び実践の仕組みづくり 事業	R3年度	一般社団法人Qラボ	R3年11月
21	鹿児島大学	ガン標的ウイルスの医薬品開発、iPS細胞の腫瘍化根絶のベクター技術の開発、難治性肝疾患根治医薬品の開発	H29年度	サーブ・バイオファーマ(株)	R4年8月

(4) DX 推進事業（九州 IoT コミュニティ事業）

産学官組織の九州 IoT コミュニティ（事務局：九州経済産業局）と連携して DX 推進事業を行い、DX with Cybersecurity 推進セミナー（兼九州 IoT コミュニティ活動報告会）を開催した。

アンケートでは全ての項目で 9 割近くが「参考になった。」と回答し、「実例を交えた説明があったので、イメージが湧き参考になった。」「サイバーセキュリティ対策の情報収集先も参考になった。」などの意見が寄せられた。

このほか、データ利活用に向けた施策説明会 & 相談会や地域サイバーセキュリティに対する 啓発活動として各種セミナーを実施した。



データ利活用に向けた 施策説明会&相談会 in鹿児島

～データ利活用のプロ！
「データサイエンティスト」に
気軽に相談してみませんか？～

参加費無料

日程 令和 4年 5月20日 (金) 13:30～

鹿児島県曾於市の
地元密着食品スーパー
「小迫ストア」
の事例も紹介！

小迫ストア
副代表 小迫京平氏

データ利活用によるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の実現に向けて、九州でご活躍されているデータサイエンティストが相談をお受けします！

**マーケティングや品質保証にデータを活用したいが、
どう収集・整理したらいい？**
～という経営者の皆様、必見です！

ワークスアイディ株式会社
DX事業統括本部
シニアデータサイエンティスト
福原 好隆氏

・“データ”を起点として、BIツールを使った可視化や統計解析、AI（機械学習、ディープラーニングなど）を駆使して顧客の課題解決と売り上げ増加やコスト削減の実現に向け、人材育成支援を含めて総合的にご支援中。特に福岡支店は同社データサイエンスセンターとして多数のデータサイエンティストが所属。
・九州地域では「製造設備の稼働時間改善と製品の品質維持活動分析」「通販会社の商品の発注予測の精度改善に関するアドバイス」等を実施。

Deel 新川裕也氏

・インフラ、通信、小売、金融、WEBなど幅広い業種業態の分析・コンサル・機械学習モデル構築に従事。
・バックグラウンドは医療統計学で、経歴としてはTRIALホールディングスの株ITRE（現：(株)Retail AI X）やLINE Fukuoka(株)に在籍していたこともあり、医療分野・小売分野、及びサービスのグロースハックは特に経験が多い。NOB DATA(株)では、クライアント企業様の分析チーム立上げの案件にも従事。
・GAアカデミー福岡ではデータサイエンスの講師も務めており教育に関しても対応可能。
・最近では、Googleのノーコードツール AppSheetを活用しながらDXを支援。

概要																			
日時	令和4年5月20日（金）13:30～14:50（第一部）、15:00～16:20（第二部） 【13:00開場予定】																		
定員 (先着順)	第一部：100名（オンライン。Webexを活用）／ 30名（会場 ※コロナ感染拡大防止のため、会場収容率50%以内で設定。） 第二部：10名（オンライン／会場）																		
会場	鹿児島県工業技術センター 1F 大会議室（鹿児島県霧島市牟人町小田1445-1） ※JR九州「牟人」駅から徒歩で約5分。																		
プログラム	<p><第一部></p> <table border="1"> <tr> <td>13:30～13:50</td> <td>国のデータ利活用・DX関連施策の紹介</td> <td>九州経済産業局 デジタル経済室</td> </tr> <tr> <td>13:50～14:00</td> <td>鹿児島県のDX関連の施策紹介</td> <td>鹿児島県 新産業創出室</td> </tr> <tr> <td>14:00～14:20</td> <td>鹿児島県企業の事例紹介 「過疎地の小さなお店でもできる！ データ活用による経営変革」</td> <td>小迫ストア 副代表 小迫京平氏</td> </tr> <tr> <td>14:20～14:50</td> <td>九州地域でご活躍の データサイエンティストによる 事業・支援事例の紹介</td> <td>・ワークスアイディ株式会社 福原氏 ・Deel新川氏</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">休憩（10分）</p> <p><第二部></p> <p>※相談の際「どのようなデータを何ヶ月・何年分所有しているか」をご指示いただくと、より具体的に活用方法等を回答できるようになりますので、可能な範囲でご協力いただけますと幸いです。</p> <table border="1"> <tr> <td>15:00～15:40</td> <td>相談会①</td> <td rowspan="2">データサイエンティストとの相談会</td> <td rowspan="2"><相談対応する データサイエンティスト> ・ワークスアイディ株式会社 ・Deel新川氏</td> </tr> <tr> <td>15:40～16:20</td> <td>相談会②</td> </tr> </table>	13:30～13:50	国のデータ利活用・DX関連施策の紹介	九州経済産業局 デジタル経済室	13:50～14:00	鹿児島県のDX関連の施策紹介	鹿児島県 新産業創出室	14:00～14:20	鹿児島県企業の事例紹介 「過疎地の小さなお店でもできる！ データ活用による経営変革」	小迫ストア 副代表 小迫京平氏	14:20～14:50	九州地域でご活躍の データサイエンティストによる 事業・支援事例の紹介	・ワークスアイディ株式会社 福原氏 ・Deel新川氏	15:00～15:40	相談会①	データサイエンティストとの相談会	<相談対応する データサイエンティスト> ・ワークスアイディ株式会社 ・Deel新川氏	15:40～16:20	相談会②
13:30～13:50	国のデータ利活用・DX関連施策の紹介	九州経済産業局 デジタル経済室																	
13:50～14:00	鹿児島県のDX関連の施策紹介	鹿児島県 新産業創出室																	
14:00～14:20	鹿児島県企業の事例紹介 「過疎地の小さなお店でもできる！ データ活用による経営変革」	小迫ストア 副代表 小迫京平氏																	
14:20～14:50	九州地域でご活躍の データサイエンティストによる 事業・支援事例の紹介	・ワークスアイディ株式会社 福原氏 ・Deel新川氏																	
15:00～15:40	相談会①	データサイエンティストとの相談会	<相談対応する データサイエンティスト> ・ワークスアイディ株式会社 ・Deel新川氏																
15:40～16:20	相談会②																		
申込方法	締切：令和4年5月13日（金）17時まで																		
<p>下記申し込みフォームよりご登録ください。後日配信URL等をお送りいたします。 https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kyusyu-johoseisaku/form1_ds-kagoshima</p> <p>※上記フォームで登録できない場合は、下記項目（第二部参加希望の方は4.まで）を九州経済産業局デジタル経済室（kyushu-iot@meti.go.jp）宛、メールでご連絡ください。 【記載事項】 1. ご所属、2. ご氏名、3. メールアドレス、 4. 相談したい内容（現状の事業課題、今後目指す方向性等）</p> <p><small>【個人情報取扱いのお願い】ご提供いただいた個人情報は、事務局（九州経済産業局、一般財団法人九州オープンイノベーションセンター、鹿児島県）及び講師が、本事業「データ利活用に向けた施策説明会&相談会」の運営においてその用途についてのみ取り扱います。事務局においてその用途についてご変更するとともに、ご本人の同意なしに本事業及び講師以外の第三者に開示・提供することはありません。また、オンライン形式（Cisco Webex Meetings）では、入室時に設定した電話番号が画面に表示されます。個人情報を保護の観点から、画面は、公開可能な名称を設定してください。</small></p> <p>【主催】 九州経済産業局、一般財団法人九州オープンイノベーションセンター、鹿児島県（ものづくりIoT研究会、県IoT推進ラボ） 【お問い合わせ先】 経済産業省 九州経済産業局 デジタル経済室 担当：春口、橋尾 TEL：092-482-5552 E-mail：kyushu-iot@meti.go.jp</p>																			

開催日	実施概要
5月20日 参加者：(会場) 3名 (オンライン) 93名 相談：7件	<ul style="list-style-type: none"> ●データ利活用に向けた施策説明会 & 相談会 in 鹿児島 ・九経局、各県、KOIC 主催で、国および県の施策説明、事例紹介（計 80 分）とデータサイエンティストによる相談会（20分8枠）を実施
7月26日 相談：4件	<ul style="list-style-type: none"> ●データ利活用に向けた相談会 in 熊本 ・九経局、KOIC 主催で、くまもと DX 推進コンソーシアムキックオフイベントとコラボし、同コンソーシアム会員限定のデータサイエンティストによる相談会（20分8枠）を実施
6月30日 参加者： (オンライン) 94名 参加者満足度 93%	<ul style="list-style-type: none"> ●DX with Cybersecurity 推進セミナー（兼九州 IoT コミュニティ活動報告会） ・会長講演「IoT の本質とは？～IoT がヒトとヒトを繋ぎ、そして新しいコトが生まれる！～」 九州大学大学院システム大学院情報科学研究院 教授 井上 弘士 氏 ・中小企業のデータ利活用ビジネスに向けた取組紹介 (株)タケマン ・中小企業の事業継続としてのサイバーセキュリティ対策 九州大学 情報基盤研究開発センター 教授 小出 洋氏

<p>8月10日 参加者： (オンライン) 41名 参加者満足度 91% アーカイブ配信 視聴回数 63回</p>	<p>●データサイエンティスト講座 (8月、9月) ・初学者向けに、データサイエンスに取り組む前に発生する問題に指針を与えるとともに、派遣実証事業につながる講演を提供。1講座6日間とし、セミナー、データサイエンスハンズオン、データ分析の導入に向けた講義の3部構成とする。 【セミナー編】 ・講演「いまさら聞けないデータサイエンス概論」 講師：株式会社D4cアカデミー代表取締役社長 和田 陽一郎氏</p>
<p>8月10日 8月22日 8月26日 参加者：4名 うち分析結果発表者：2名</p>	<p>【ハンズオン編】 ・事業内容の解説 ・実習 ・分析結果発表会 講師：株式会社D4cアカデミー代表取締役社長 和田 陽一郎氏</p>
<p>8月31日 9月6日 9月30日 参加者：1名 うち導入企画作成者：1名</p>	<p>【ケーススタディ編】 ・データ分析の導入に向けた講義(1)「組織的取組に向けた準備」 ・データ分析の導入に向けた講義(2)「分析テーマの設定方法」 ・演習(個別相談対応) ・導入企画発表会 講師：株式会社D4cアカデミー代表取締役社長 和田 陽一郎氏</p>
<p>10月19日 参加者：(会場) 9名 (オンライン) 19名</p>	<p>地域サイバーセキュリティの推進 ●ECサイトワークショップ 【第1回】 ・講演「サイバー犯罪の現状と対策」 講師：福岡県警察サイバー犯罪対策課 高度情報技術対処センター 課長補佐 神 洋喜氏 ・サイバーセキュリティ ECサイトワークショップ 講師：株式会社セキュアサイクル 代表取締役 服部 祐一氏</p>
<p>1月25日 参加者： (オンライン) 44名</p>	<p>【第2回】 ・講演「地域SECURITYの取り組みのご紹介」 講師：三井物産セキュアディレクション株式会社 執行役員 関原 優氏 ・ネットショッピング サイバーセキュリティセミナー&座談会 講師、ファシリテータ： 株式会社セキュアサイクル 代表取締役 服部 祐一氏 (50音順) 株式会社FFRI セキュリティ 社長室長 前田 典彦氏 株式会社オーイーシー DX・海外連携推進室 次長 川野 芳樹氏 九州大学 小出 洋教授 三井物産セキュアディレクション株式会社 執行役員 関原 優氏</p>
<p>2月16日 参加者：(会場) 27名 (オンライン) 50名</p>	<p>【第3回】 ・基調講演「サイバーセキュリティ人材育成と地域コミュニティ」 講師：九州大学サイバーセキュリティセンター 教授 小出 洋氏 ・講演「サイバー犯罪の現状と対策」 講師：福岡県警察サイバー犯罪対策課 高度情報技術対処センター 吉野 章氏 ・パネルディスカッション「地域のセキュリティコミュニティの在り方と展望」 (氏名50音順) 創ネット株式会社 代表取締役社長 小口 幸士氏 九州大学 情報基盤研究開発センター 教授 小出 洋氏 三井物産セキュアディレクション株式会社 執行役員 関原 優氏 株式会社セキュアサイクル 代表取締役 服部 祐一氏 株式会社FFRI セキュリティ 社長室長 前田 典彦氏</p>
<p>2月1日 参加者： (オンライン) 112名</p>	<p>地域サイバーセキュリティの推進 ●ロールプレイ形式の演習「サイバーセキュリティインシデント対応机上演習 TTX」 工場の緊急時生産管理体制を共に考える! 「中小製造業向け体験型演習」 【事前説明セミナー】 ・中小製造業向け体験型演習の概要紹介 九州大学サイバーセキュリティセンター 教授 小出 洋氏</p>
<p>3月8日 参加者：65名</p>	<p>【演習】 ・工場の緊急時生産管理体制を共に考える! 「中小製造業向け体験型演習」 in 北九州</p>
<p>2月4日 参加者：12名</p>	<p>地域サイバーセキュリティの推進 ●ロールプレイ形式の演習「サイバーセキュリティインシデント対応机上演習 TTX」 「サイバーセキュリティ対策医療編」</p>

(5)九州の戦略産業の振興

① 環境・エネルギー分野(K-RIP事業)

九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP、会員数 276）の事務局として、会員企業等の新製品・サービスの開発、資源循環ビジネス、二酸化炭素削減ビジネスへの参入やベトナム、タイ、インドネシア等の海外市場の開拓を目的として、最新の市場動向やビジネスモデル等の情報提供、業務提携を目指したマッチング、人材育成事業、海外企業との商談等の支援を行った。

● オンデマンド型ベトナム循環型経済・農業プロジェクト形成・促進事業

九州域内の循環型経済・農業関連企業のベトナムにおける事業展開を支援するため、オンラインミッションに参加意向のある企業の発掘に向け、計 17 社の企業とヒアリング・面談を随時実施した。10 月以降、支援企業の PR 動画の作成などを行い、17 社を対象に、現地コーディネーターを通じてピックアップした現地企業および行政関係者とのオンラインによるセミナーを 4 回、商談を 25 回行った。

その後、ベトナムへの渡航が可能になったため、3 月には、オンラインミッションで現地展開に特に関心が高かった企業（次表）と現地を訪問し、現地企業との商談を 20 回行うとともに、行政関係者との意見交換を行った。

なお、本事業の一部は、(一財)貿易・産業協力振興財団の助成事業により実施した。

■ ベトナムミッションの参加企業

企業名	対象分野
A 社	農業資材、暑熱対策資材
B 社	石炭灰リサイクルによる透水・保水性舗装
C 社	有機系残渣堆肥化、微生物資材
D 社*	太陽光発電所の保守

※オンライン参加

● 福岡県環境技術ビジネス WEB セミナー実施運営業務

福岡県内の環境関連企業のベトナム、タイにおける事業展開を支援するため、7 月に現地の環境ビジネスニーズを知るための発表会をオンラインで現地とつなぎ開催し、県内環境関連企業 22 社と 2 機関が参加した。

それを踏まえ、11 月に現地企業および行政関係者等を対象とする「福岡県環境技術ビジネス WEB セミナー」を開催し、ベトナム対象のセミナーでは 13 社の県内企業が、タイ対象のセミナーでは 12 社の県内企業がそれぞれプレゼンし、事業内容について広く情報発信した（後日、セミナーに参加した県内企業には、福岡県商工部によるオンライン商談会への参加の機会が提供されている）。

なお、本事業は、福岡県の委託事業により実施した。

■ 福岡県環境技術ビジネス WEB セミナー in Vietnam

<p>開催日時：令和4年11月8日 13:30~17:20 (日本時間) 開催方法：オンライン+オフライン (会場) のハイブリッド ハノイ会場：Ministry of Science and Technology (科学技術省) 福岡会場：九州オープンイノベーションセンター 参加者数：48名[一般申込参加者29名、パネリスト19名](運営事務局等は含まず)</p>
<p>【プログラム】 ・基調講演：「ベトナムにおける排水・固形廃棄物処理および再利用の現状と技術的要求」 ベトナム科学技術省 国立技術開発センター (NACENTECH) フン・トゥアン・トラン博士</p> <p>【第一部：水・エネルギー】 ・現地企業等のニーズ報告 (2社) ・県内企業等のシーズ発表 (6社動画再生)</p> <p>【第二部：廃棄物・一次産業】 ・現地企業等のニーズ報告 (2社) ・県内企業等のシーズ発表 (7社動画再生)</p>
<p>【プレゼン企業 (13社)】 (株)石橋技販、環境電子(株)、協和機電工業(株)、(株)ティオシステムズ、東京産業(株)、 (株)システム・ジェイディー、(株)エコウッド、(株)くりんか、トータルケア・システム(株)、 (株)グリーナー、(株)アステック入江、丸和バイオケミカル(株)、(株)アグリツリー</p>

■ 福岡県環境技術ビジネス WEB セミナー in Thai

<p>開催日時：令和4年11月11日 13:30~17:20 (日本時間) 開催方法：オンライン+オフライン (会場) のハイブリッド バンコク会場：Sukosol Hotel Bangkok 福岡会場：九州オープンイノベーションセンター 参加者数：59名[一般申込参加者39名、パネリスト20名](運営事務局等は含まず)</p>
<p>【プログラム】 ・基調講演：(ビデオメッセージ) タイ工業省産業振興局 副局長 Passakorn Chairat 氏 「環境産業の振興に向けた大気汚染、廃棄物、土壌汚染対策のご紹介」 タイ国工業省産業規制局 Dr. Kittiphan Taparugssanagorn 「タイの環境問題と福岡県企業への要望」 タイ国天然資源環境省公害管理局 Dr. Chayawee Wangcharoenrung</p> <p>【第一部：廃棄物】 ・現地企業等のニーズ報告 (4社) ・県内企業等のシーズ発表 (6社動画再生)</p> <p>【第二部：水・エネルギー】 ・現地企業等からのニーズ報告 (2社) ・県内企業等のシーズ発表 (6社動画再生)</p>
<p>【プレゼン企業 (12社)】 (株)エコウッド、研機(株)、(株)くりんか、(株)グリーナー、(株)アステック入江、 トータルケア・システム(株)、(株)ファーストソリューション、環境電子(株)、東京産業(株)、 (株)ティオシステムズ、(株)アグリツリー、(株)システム・ジェイディー</p>

● グリーンテック関連分野 インドネシア企業とのオンライン・商談会業務

福岡市のグリーンテック関連企業 (資源や環境の保護に資する製品や技術、サービス等を有する企業) のインドネシアにおける事業展開を支援するため、現地企業とのオンライン商談会を開催した。

参加企業については公募により5社 (次表) を選定し支援を行った。具体的には、支援企業の動画(1分版、5分版)を作成し、オンライン商談会およびアフターフォローを実施した。

なお、本事業は、福岡アジアビジネス支援委員会の委託事業により実施した。

■ オンライン商談会の参加企業

企業名	海外展開事業名
E社	インドネシアにおける野菜シート製造販売事業
F社	インドネシアに於ける都市鉱山リサイクル事業
G社	ASEANにおける水質自動監視装置と画像処理センサ装置の販売推進事業
H社	インドネシアにおける雨水および土砂流出抑制を実現する保水性舗装土木技術の移転事業
I社	ASEANにおける太陽光発電の保守点検推進事業

② 医療機器・ヘルスケア分野(HAMIQ事業)

九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIQ、会員数 173)の事務局として、九州の半導体や自動車産業で蓄積した精密加工技術等を活用した医療機器分野への参入、医療・介護機関とサービス事業者のコラボレーション、医用機器メーカーの販路開拓、海外事業展開を支援、AI や IoT 技術の医療分野での活用・サービスに係るヘルスケアの需要創出等を目的に専門家を配置し支援した。

● 地域連携拠点自立化推進事業

国立研究開発法人日本医療開発機構(AMED)の地域連携拠点自立化推進事業の採択を受け、九州内の自治体、支援機関、大学等と医工連携の連携を深めた。

案件初期段階からグランドデザインを描き事業計画に基づいた伴走支援体制の構築を進め、「作ったけど売れない」から「売れる視点」の医療機器開発支援体制を整備した。

また、事業化推進支援人材育成のため、Webセミナーを中心として「人材育成プログラム」を実施。セミナー内容を保存して再利用可能な動画コンテンツを作成した。

実施事項	実施概要
案件発掘事業	発掘した開発案件に対して評価委員会を開催案件の内容に応じた継続的な支援を実施
専門家派遣	支援決定案件に対して開発段階に合わせて専門家を派遣し伴走支援国の公募に申請支援
情報提供拠点	ホームページを活用して医療機器開発に必要な基礎知識を動画配信企業の持つ優れた技術やサービスを写真や動画で紹介
人材育成プログラム	九州での医療機器開発支援人材育成のため、Webセミナーを中心に基礎講座、ステップアップ講座、ワークショップを実施

③ 半導体・エレクトロニクス分野(SIIQ事業)

九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会(SIIQ、会員数 275)の事務局として、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が5G促進法に関連して行う調査事業を受託するとともに、九州半導体人材育成等コンソーシアムの活動を支援、教員向け研修会、佐世保高専での出前授業等を行い、半導体人材育成活動を推進したほか、新たなビジネスモデルの構築支援やビジネスマッチング支援、ネットワーク事業、研究奨励事業、情報発信事業等を実施した。

なお、同協議会は、令和5年4月に名称を「九州半導体・デジタルイノベーション協議会」に変更のうえ、法人化(一般社団法人)を行い、自主運営となった。

● NEDO 受託事業「特定半導体の安定供給体制の構築・維持に必要な人材の育成及び確保並びにサプライチェーンの強靱化に関する調査」事業

半導体産業に関わる産学官および外部専門家で構成する「人材育成ワーキンググループ」「サプライチェーン強靱化ワーキンググループ」の事務局となり、人材育成・確保、サプライチェーン強靱化の基礎調査を実施した。

また、2月8日～11日(3泊4日)にかけて、台湾に台湾教育機関や半導体関連企業への人材育成に係る各種調査のため、人材育成ワーキンググループメンバーを中心とした調査団を派遣した。

これらの調査結果から、今後取り組むべき方向性について提言をとりまとめ、最終報告を行った。

2. 産業技術振興事業

(1) オープンイノベーションによる産業技術の振興

① 九州オープンイノベーション情報サイト事業

九州オープンイノベーション創出戦略会議（KOICC）と連携し、企業等のニーズ・シーズの情報提供やコーディネータによるマッチング活動を推進し、新事業の創出を支援した。

● オープンイノベーション・ソリューション・サイト（OISS）の運営

OISSサイトへの登録およびマッチング支援状況は以下のとおり。なお、利用者の利便性を高めるため、3月末をもってOISSを閉鎖し、中小機構のマッチングサイトJ-GoodTechに統合した。

区分	件数 (九州サイト)	件数 (リンカーズ)	件数 (ナインシグマ)
ニーズ登録	2	118	33
シーズ登録	2	-	-
マッチング	0	1	0

● 企業データベースの整備

九州内の地域未来牽引企業の製造業を対象に、KOICコーディネータ訪問履歴やKOIC支援実績（ブラッシュアップ研究会、サポイン等）をデータベース化。データベースからニーズ調査の対象企業を選定し、KOICコーディネータと18社を訪問した。

● オープンイノベーションセミナー

九州経済産業局と共催で、成長志向型の中堅・中小企業、イノベーション力を秘めたスタートアップをテーマに取り上げ、オープンイノベーションを学ぶセミナーを開催した。

開催日	セミナータイトル	実施概要
2月22日	FORWARD KYUSHU INNOVATION ～ オープン・イノベーションで切り拓く九州ジセダイX ～	<ul style="list-style-type: none"> 参加者：会場 68名、オンライン：184名 基調講演 eiicon company 代表 中村亜由子 氏 共創事例発表 4社（KOICからは(株)末松電子製作所を推薦） 支援機関による施策・サービス紹介 KOIC、中小機構、公庫 交流会・個別相談会



② 九州イノベーション創出戦略会議（K I C C）

九州イノベーション創出戦略会議（K I C C）の事務局として、九州の62の大学・高専・公設試等と連携し、企業の技術課題解決に資する活動およびビジネスモデル構築を支援した。

● 通常総会・特別講演会の開催

7月28日にオリエンタルホテル福岡博多ステーションにて開催

通常総会	令和3年度事業実績報告、令和4年度事業計画（案）、役員等の選任（案）について全て承認
特別講演会	講演1：我が国のオープンイノベーションの推進と活用の視点 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部長 吉田 剛氏 講演2：九州のポテンシャルとO I 施策の展開について ～イノベーションの担い手は～ 九州経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長 山口 寛氏

九州イノベーション創出戦略会議（KICC）

特別講演会開催のご案内（参加費無料）

一般財団法人九州オープンイノベーションセンターでは、九州イノベーション創出戦略会議（K I C C）の令和4年度通常総会開催に併せて、通常総会終了後、特別講演会を開催いたします。特別講演会は、どなたでも参加できます。

本年度は、九州地域が、将来に向けて産業競争力を高め、活力を維持していくためには、オープンイノベーションの取り組みが重要との考えのもと、オープンイノベーションをテーマとし、ご講演いただきます。

みなさまの多数のご参加をお待ちしております。

- 開催日時：令和4年7月28日（木）14:30～16:30
- 場 所：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 3階 YAMAKASA
（福岡市博多区博多駅中央街4-23）
オンライン（Teams利用）
- プログラム

(1) 講演1 14:30～15:20 （質疑応答 15:20～15:30）	(2) 講演2 15:30～16:20 （質疑応答 16:20～16:30）
---	---

テーマ：『我が国のオープンイノベーションの推進と活用の視点』（仮題）

講演者：（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部長 吉田 剛 氏

【略歴】
1991年新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）入構。スタンフォード大学客員研究員（1995年）、早稲田大学国際経営学専攻 MOTプログラム経営学修士（2004年）等を経て2008年から3年間NEDOニューデリー事務所長。その後スマートコミュニティ部主幹、総務課長を経て、2018年10月にイノベーション推進部スタートアップリーダーとなり、2019年7月から現職。

テーマ：『九州のポテンシャルとO I 施策の展開について ～イノベーションの担い手は～』

講演者：九州経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長 山口 寛 様

【略歴】
1996年経済産業省九州経済産業局入局。総務、石炭鉱業、環境産業、新規事業、国際、企画、秘書、調査、金融、本省出向（サービ産業）、久留米市出向（商工政策）等を経験。2022年4月から現職。

3. 定 員：会場40名 オンライン100名 参加費 無料

参加申込書はこちらから <https://forms.gle/J7A2zJVNqkyG4bwN9>
（定員になり次第締め切ります。ご了承ください。なお、オンライン懇談の方へは後日、お申し込みいただいたメールアドレスに「Teams会議の参加用リンク」をご連絡いたします。参加用リンクは、申込書限りです。第三者への転送等にご遠慮ください。）

問い合わせ：（一財）九州オープンイノベーションセンター
技術振興部 増田、松尾（☎092-411-7394）
Email：info@koic.or.jp



● K I C Cホームページの更新

（開放機器情報、K I C C構成機関コーディネータ・マネージャー情報）

K I C Cのホームページから検索できるK I C C構成機関の開放機器データベースの情報を更新し相互利用の促進を行うとともに、K I C C構成機関のコーディネータ、マネージャー情報を更新し企業等の技術相談等の推進を行った。

● K I C C構成機関との意見交換

公設試、産業支援機関、大学・高専から8機関を訪問し、K I C C事業の紹介や開放試験機器データベース、コーディネータ等の情報活用の活性化策に関して意見交換を行った。

意見交換機関	福岡県工業技術センター、熊本県産業技術センター、大分県産業科学技術センター、九州大学、宮崎大学、佐世保工業高等専門学校、北九州産業学術推進機構、久留米リサーチパーク
--------	--

● 大手企業の技術ニーズ説明会

サンスター社から九州の中小企業に向けてニーズを提示し、マッチングを図る技術ニーズ説明会を開催した。

開催日	参加者	マッチング状況
12月8日	オンライン参加者：36名	5件の提案あり

2022年度 大手企業技術ニーズ説明会
SUNSTAR サンスター株式会社
 12月8日(木)14:00~16:00 (予定) オンライン開催

一般財団法人九州オープンイノベーションセンターでは、国際競争力のある新製品・新事業の創出を目指して、地域の中小・ベンチャー企業と地域外企業とのマッチング事業を展開しております。

今回は、世界 90 か国以上に製品やサービスを提供し、オーラルケア商品、ヘアケア・スキンケア商品、健康食品、生活用品など幅広い分野の消費財を扱うサンスター社が、新たな商品開発に活用できる技術・ノウハウを広く募集します。サンスター社が求める技術ニーズに対し、技術提案ができる可能性・意欲をお持ちの方は、是非ご参加ください。

募集対象

九州域内の企業、大学、研究機関、支援機関、コーディネーター等
 ※サンスター社の同業他社、広告代理店、出版社等のメディア関連企業、コンサルティング会社の参加はお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【サンスター社が求める技術ニーズ】

【オーラルケア分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内に歯周病や歯周病予防に対する効果・効能を付与できる天然素材原料 ・歯の表面のポリッシングに関する技術 ・フィラメントの代替技術及び金属を使わない歯磨機の駆動技術 ・清掃時の先頭に搭載可能な小型センサ ・口腔内で使用可能なマッサージ器具 ・オーラルケア時の香気をコントロールする素材・技術 ・オーラルケア時の歯垢をマスクングする素材・技術 ・オーラルケア時の心状態の評価手法 	【スキンケア・ヘアケア・ヘルスケア分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・エナジーに代わる、液状薬剤を噴霧可能な技術・噴霧システム ・噴射した薬剤を効率的に対象物に付着させる技術 ・ノンタカカヒで高 SPF 高 PA の日焼け防止素材・技術 ・高齢者の肌質に適したスキンケアのための服薬・機器・製剤塗布方法 ・皮膚内の pH を測定・可視化できる技術 ・腸内の細菌叢、腸管上皮細胞、免疫細胞の共存状態を再現することができる。有効成分の生理学的意義が評価できる腸菌のモデル ・生体・死体の生体内での動態を評価できる手法・技術
---	---

参加申込から個別面談までの流れ

12月1日まで
説明会
参加申込

12月8日
技術ニーズ
説明会

12月16日
【選考】

12月20日
技術提案書
締切

12月23日
【選考】

12月27日
個別面談
サンスター社にて

■参加申込方法：下のURLからお申込みください。【申込締切】：12月1日(木)16:00
<https://forms.gle/ta7aWMsaVMuLNsQX9>

■定員：150名程度
 ■説明会のオンライン参加用の URL 等は 12月6日(火)にメールにてお知らせいたします。

主催者・問合せ先

■主催者：(一財)九州オープンイノベーションセンター、九州イノベーション創出戦略会議 (KICC)
 ■問合せ先：(一財)九州オープンイノベーションセンター (KICC事務局) 担当：井口、増田、松尾
 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-13-24
 TEL：092-411-7394 E-Mail：info@koic.or.jp

この事業は、競輪の補助を受けています。
<https://jka-cycle.jp>



(2) 九州 Earth 戦略に基づくイノベーション創出事業【JKA補助事業】

九州の産業成長戦略である「九州 Earth 戦略Ⅱ」実現の一助として、オープンイノベーションによるモノづくり基盤や先端技術等の事業化を通じたイノベーションの創出に向け、KOICの職員とコーディネータと一緒に九州の研究開発型中小企業を訪問し、技術やビジネスのニーズやシーズを調査・発掘。これらの事業化に向け、企業・大学・産業支援機関とのマッチングを図りプロジェクトメイク。KOICコーディネータがコーディネートする研究会で解決に向けた事業計画の策定などの支援を行い、技術開発等が必要なプロジェクトは国の技術開発補助事業等の活用を図るほか、事業化に向けた展示会出展支援を行い、入口から事業化まで一貫した事業化支援を行った。

企業等へのニーズ調査・マッチングに関しては、今年度も新型コロナウイルス感染拡大による移動制限の影響を受けたが、下期で取り戻し、当初計画していた年間目標を概ね達成した。

また、技術開発の前段階となる技術課題や市場の分析を助成し、本格的な技術開発につなげて事業化を図る提案公募事業では5件を採択し、ブラッシュアップ研究会で支援した。

事業化支援の面では、当財団が支援する企業の技術等や事業を紹介するため展示会出展を行った。

さらに、サンスター社によるニーズ説明会を開催（12月8日）し、九州の中小企業と大手企業の新規取引を支援するとともに、九州経済産業局と共催でオープンイノベーションセミナーを開催（2月22日）し、オープンイノベーションを推進した。

※JKA：Japan Keirin Autorace Foundation 自転車・小型自動車公営競技を振興する公益法人
売上の一部を機械振興と公益事業の振興事業に補助している。

① 委員会、会議等による事業統括・管理

事業の方向性、事業の推進状況等を統括管理する事業推進委員会を開催するとともに、支援プロジェクト毎の進捗、課題の共有を行い、互いにアドバイスを行うコーディネータ会議を開催した。



委員会・会議名	開催日	内容
事業推進委員会	6月24日	2022年度機械振興チャレンジ研究調査の審査 2020年度JKA補助事業自己評価Ⅱ審議
	2月10日	2022年度JKA補助事業自己評価Ⅰ審議 2022年度機械振興チャレンジ研究調査成果の評価 2023年度JKA補助事業の概要説明
コーディネータ会議	5月19日	2021年度活動実績、2022年度JKA補助事業概要 コーディネータ活動について 他
	9月1日	2022年度コーディネータ活動実施状況 モノづくりフェアおよびJKA事業成果発表会について 他
	12月6日	2022年度コーディネータ活動実施状況 2023年度JKA補助事業の申請内容について 他
	3月7日	2022年度コーディネータ活動実施状況 2022年度JKA補助事業自己評価Ⅰについて 他

② コーディネータによる企業支援

企業のニーズ調査から事業化まで、一貫して支援体制を構築するとともに、事業実施プロセスの「見える化、共有化および協働化」の仕組みを導入し、支援機関等、成功報酬型コーディネータと連携し、効率的な支援を推進した。

● **コーディネート活動（技術ニーズの発掘、シーズとのマッチング、ブラッシュアップ研究会）**

マッチングの結果、13件（公募の5件を除く）のブラッシュアップ研究会を発足させた。

プロジェクト毎にブラッシュアップ研究会の結果を踏まえ、改良・改善をフォローするとともに、国等の技術開発補助事業への申請および事業化に向けた支援を行っている。



ニーズ調査（コア技術調査）		マッチング	活動件数計	ブラッシュアップ研究会 発足数
	支援ニーズ有			
83	18	35	118	13

（事業目標）

ニーズ調査・マッチング：120件、ブラッシュアップ研究会発足数：15件（公募の5件除く）

● **機械工業振興チャレンジ研究調査（公募）**

技術開発の前段階である技術課題や市場の分析を支援する大学・公設試・企業等向けの提案公募事業では、13件の応募があり、事業推進委員会の審議を経て5件を採択した。

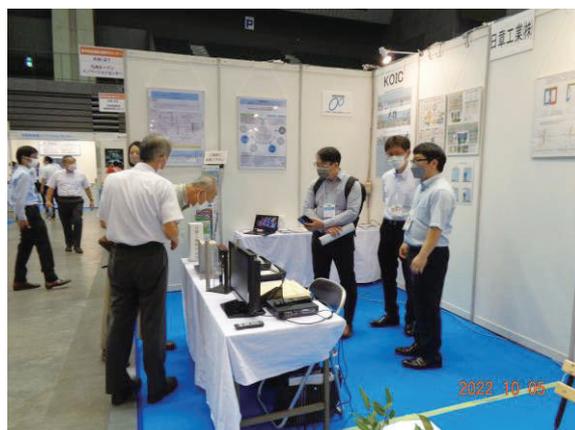
案件毎のブラッシュアップ研究会を開催し、技術的課題の検討、市場動向の分析等を行った結果、5件とも資金獲得や事業化を目指し継続して研究を続けることとなった。

研究題目	参加機関・企業	成果
高速・高感度ワンタッチイムノアッセイキットの開発と応用	株式会社 HaKaL 西川計測株式会社 久留米大学 久留米リサーチパーク	次年度継続研究
廃棄キノコおよび廃棄農産物ヒト型セラミド製造残渣を利用した有機液肥開発とその有効性の確認	株式会社ジェヌインアールアンドディー 福岡県醤油醸造協同組合	
ハンドトーチ型ファイバークレー溶接機による圧力容器製造の技術開発	株式会社西田 福岡県工業技術センター 機械電子研究所	
ワイヤレス給電方式動物用活動量計（センサータグ）の開発	株式会社末松電子製作所 合同会社ブレアデステクノロジーズ 株式会社アコース キッセイコムテック株式会社	
林業・水産業向け圧電素子を利用した超音波測定器用センサー開発のための検討	株式会社坂本電機製作所 福岡県工業技術センター 機械電子研究所	

● **セミナー・ニーズ説明会・成果報告会・展示会出展**

これまでにブラッシュアップ研究会等で支援した中小企業の技術や製品等を紹介するために展示会「モノづくりフェア 2022」に出展するとともに、同フェアの中で機械工業振興チャレンジ調査研究成果報告会を開催し、販路開拓や業務提携等の事業展開の機会を設けた。

開催日	実施概要	参加・進捗状況
10月5日～ 10月7日	モノづくりフェア2022に出展 KOICの支援事例および九州域内中小企業の技術や製品等を紹介し、販路開拓や業務提携等事業展開のチャンスを広げるため出展（日草工業(株)、(一社)みどりの機能性研究所の2社出展支援）	フェア来場者数：合計20,380名 支援企業2社について、 ・商談成立件数：3件 ・見積提出件数：3件 ・開発/製造/販売における提携件数：1件
10月7日	JKA補助事業成果発表会開催（モノづくりフェア2022内）機械工業振興チャレンジ調査研究の成果を広く紹介	参加者数：24名
12月8日	サンスター社のニーズ説明会をオンラインで開催（KICCと共催） ビジネスマッチングを促進する説明会を実施	オンライン参加者数：36名 ・5件提案有
2月22日	オープンイノベーションセミナーを九州経済産業局と共催 （会場とオンラインで開催） FORWARD KYUSHU INOVATION ～ オープンイノベーションで切り拓く九州ジセダイX ～	参加者数：252名 （会場：68名 オンライン：184名）



(3)成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業※：旧サポイン事業）

特定ものづくり基盤技術（情報処理、精密加工等の12分野）による新規事業の創出を支援するため、企業の技術と大学・高専・公設試のシーズや専門的知見を結集して行う経済産業省の産学連携型の技術開発補助事業を活用し、開発と事業化を目的としたプロジェクトに事業管理機関としてマネジメントを行った。

今年度は、2件の継続事業（サポイン事業）について、企業・大学・研究機関等の事業進捗状況などの管理・調整役である事業管理機関として効率的な事業運営を行った。

また、過去のサポイン事業16件の各実施機関に事業化状況のフォローアップ調査を行った。

※Go-Tech：基盤技術分野の新技术・新事業開発を促進する、経産省補助事業
対象は中小企業・大学・高専・公設試
上限3年間9,750万円、補助率：中小企業2/3、公設試等 定額

分野	件名	補助先	成果
精密加工	車載用半導体デバイスの切断工程の工法転換を実現する刃先先端Rシングルナノメートルの刃物の開発 【令和3年度～令和5年度予定】	(株)ファインテック 岐阜大学 久留米大学	令和3年度採択事業 令和4年度の計画目標を達成し、次年度も研究開発を継続
測定計測	土壌汚染を簡易・迅速に分析する重金属検出技術を活用した簡易検出材OCTES-2の開発 【令和3年度～令和5年度予定】	(有)坂本石灰工業所 東京工業高等専門学校 苫小牧工業高等専門学校 熊本高等専門学校 熊本大学	

(4)他機関との連携事業

産業支援機関や公設試のコーディネータやマネージャーとのネットワークを構築し、さまざまな相談等に対する広域的コーディネート活動を支援した。

実施日	事業名	主な内容
7月6日	KFC※特別講演の開催	KFCの事務局として総会、講演会を開催
11月14日	KFCセラミックス研究交流セミナーの開催	KFCの事務局としてセミナーを開催
11月22日	九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー参画	(国研)産業技術総合研究所九州センターが最新の技術開発等の情報提供、各県公設試の支援事例紹介、支援機関間の情報交換および研究成果の民間企業への橋渡しに繋げるための交流の場として開催 K O I Cも九州全体を対象エリアとする支援機関として参画

※九州ファインセラミックス・テクノフォーラム

(2)九州経済を考える懇談会

九州の経済界のトップ※が一堂に会し、「九州経済のあり方や課題および具体的な政策」を議論し、九州戦略会議・九州知事会および国等へ意見具申・要望を行う懇談会を共同事務局の九州経済連合会及び九州経済調査協会と連携して開催した。

第2回懇談会では、昨年度K O I CからD X人材育成について提言し発足した「九州デジタル経営塾」の2年目の活動実績と来年度の活動計画について報告を行った。

※ (一社)九州経済連合会会長、(一財)九州オープンイノベーションセンター会長、九州商工会議所連合会会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長、(公財)九州経済調査協会理事長

(3)地域技術交流事業

①九州・沖縄地区国立大学法人産学官連携関連センター長等会議

九州・沖縄地区の国立大学法人と産業界等との研究業務の円滑な遂行を図ることを目的に、関連法人と当財団がネットワークを構築し、産学官連携に関する現状と課題、協力体制等について意見交換を行った。



開催日	場所	意見交換テーマ
11月25日	長崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携型の文科省等事業予算の獲得および支援体制について ・産学地域連携支援の取り組みと支援体制の課題について

(4)カーボンニュートラル普及啓発事業

カーボンニュートラルを推進するため、九州経済連合会等と連携し、「再生可能エネルギーの産業化を目指すアクションプラン（九州モデル）」実現のため、展示会への出展(次表①)、検討会を開催(次表②)した。

また、K-RIPと連携し、カーボンニュートラルにつながる海外ビジネス展開の支援として、コロナ禍で中断していた九州企業と台湾企業との連携プロジェクトを再開・推進するため、現地にミッションを派遣(次表③)し、台湾企業との商談や行政関係者との意見交換を行った。

① 展示会出展

展示会名称	開催日	開催場所	内容
エコテクノ2022	7月5日～7日	西日本総合展示場(北九州市)	<ul style="list-style-type: none"> ・「再生可能エネルギー産業化推進委員会」の活動・取り組みの紹介 ・全体来場者数：約14,000名 ・当ブース訪問者数：約120名



② 会議開催

会議名	開催日	開催場所	内容
再生可能エネルギー産業化推進委員会	第1回 10月7日	九経連	委員長：九州大学名誉教授 安浦 寛人 講演「今後の再生可能エネルギー政策について」 資源エネルギー庁 総括係長 平岡 侑一郎 氏 出席者：24名
	第2回 3月9日		委員長：九州大学名誉教授 安浦 寛人 講演「GX 実行会議における再生エネ関連について」 資源エネルギー庁 総括係長 平岡 侑一郎 氏 出席者：25名
水素エネルギー産業化実務者会議	第1回 8月31日	オンライン	座長：九州大学大学院工学研究院 教授 伊藤 衡平 講演「九州・山口の水素ポテンシャルについて」 (株)テクノバ 総括主査 丸田 明輝 氏 「水素社会の実現に向けた企業の取り組みについて」 岩谷産業(株) シニアマネージャー 横本克巳 氏 旭化成(株) 事業開発リーダー 佐久間 雄一 氏 トヨタ自動車九州(株) 部長 弥永 明彦 氏 出席者25名
	第2回 1月18日		座長：九州大学大学院工学研究院 教授 伊藤 衡平 講演「モビリティのカーボンニュートラル実現に向けた水素燃料電池自動車の普及について」 資源エネルギー庁新エネルギーシステム課 白水 遼太 氏 「商用向け水素貯蔵設備に関する考え方」 日本エア・リキード(株) マネージャー 島田 和明 氏 出席者：28名
地熱・温泉エネルギー産業化実務者会議	第1回 9月7日	オンライン	座長：九州大学大学院工学研究院 教授 藤光 康宏 出席者：27名
	第2回 2月20日 21日	佐賀市・唐津市	座長：九州大学大学院工学研究院 教授 藤光 康宏 講演「地熱貯留層シミュレーターの動向」 九州大学大学院工学研究院 教授 藤光 康宏 氏 出席者：20名
海洋エネルギー産業化実務者会議	第1回 8月26日	福岡市	座長：佐賀大学海洋エネルギー研究所 教授 池上康之 出席者：20名
	第2回 2月13日	北九州市	座長：佐賀大学海洋エネルギー研究所 教授 池上康之 出席者：22名

③ 台湾へのミッション派遣

・事前調査ミッション

期間	参加企業	内容
2月7日 ～11日	A社（水処理、海水淡水化、繊維ろ過装置） B社（石炭灰リサイクルによる透水・保水性舗装）	・連携プロジェクトの再開・推進及び3月の台湾ミッション派遣に向けての事前調査として、台湾企業や行政機関との意見交換を実施

・台湾ミッション

期間	参加企業	内容
3月19日 ～24日	B社（同上） C社（有機系残渣の堆肥化等） D社（野菜シート製造販売）	・2月の事前調査ミッションの結果を踏まえ、台湾企業との連携プロジェクトの深化及び新たな連携案件の創出に向け、商談や意見交換を実施

4. 人材育成事業

(1)九州デジタル経営塾

デジタル技術やビッグデータを活用した事業の変革、組織の変革、発想の変革、価値の変革に関して、経営層の理解の増進および参加経営者間のネットワーク構築を目的として「九州デジタル経営塾」を、九州経済連合会、九州経済同友会、九州商工会議所連合会、九州経営者協会、九州経済調査協会と連携し、長崎、佐賀、熊本、福岡（北九州）で開催した。

内容は1泊2日の宿泊を前提として、グループワークを中心にデジタルと経営を学びながら、経営者同士の交流を深め、自社におけるDX推進の可能性について考え、DX実装の気づきや決意を得ていただく場を提供した。交流会費などを含む有料での開催としたが、4箇所全体で108名が参加し、参加者へのアンケート調査の結果では総合満足度97%と大変良好な結果が得られた。



開催日/場所	内容
6月3、4日 長崎市 参加者：23名	○開催場所 ANA クラウンプラザホテル長崎グラバーヒル ○プログラム ・開講挨拶 一般財団法人九州オペーティブ・ソリューションズ 会長 瓜生 道明 ・来賓挨拶 長崎県 企画部/産業労働部 政策監 三上 建治 氏 ・講演 (有)あびや/(株)EBILAB 代表取締役社長 小田島 春樹 氏 ・ワークショップ (株)DXパートナーズ 代表取締役 村上 和彰 氏 同 アドバイザリーパートナー 徳永 美紗 氏 ・交流会
8月5、6日 佐賀市 参加者：24名	○開催場所 ホテルニューオータニ佐賀 ○プログラム ・開講挨拶 一般財団法人九州オペーティブ・ソリューションズ 会長 瓜生 道明 ・来賓挨拶 佐賀県 DX・スタートアップ総括監 北村 和人 氏 ・講演 (株)アイ・ティ・アル 会長/イクセクティブ・アリスト 内山 悟志 氏 ・ワークショップ (株)DXパートナーズ 代表取締役 村上 和彰 氏 同 アドバイザリーパートナー 徳永 美紗 氏 ・交流会
10月14、15日 熊本市 参加者：35名	○開催場所 ホテルメルパルク KUMAMOTO ○プログラム ・開講挨拶 一般財団法人九州オペーティブ・ソリューションズ 会長 瓜生 道明 ・来賓挨拶 熊本県 理事(デジタル戦略担当)/企画振興部デジタル戦略局長 小金丸 健 氏 ・講演 (株)トライアル・ヘルテイングス/イクセクティブアドバイザー/(株)Retail AI Executive Advisor 西川 晋二 氏 ・ワークショップ (株)DXパートナーズ 代表取締役 村上 和彰 氏 同 アドバイザリーパートナー 徳永 美紗 氏 ・交流会
12月9、10日 北九州市 参加者：26名	○開催場所 プレミアホテル門司港 ○プログラム ・開講挨拶 一般財団法人九州オペーティブ・ソリューションズ 会長 瓜生 道明 ・施策紹介 福岡県商工部中小企業技術振興課 課長補佐 藤木 秀明 氏 ・講演 (有)あびや/(株)EBILAB 代表取締役社長 小田島 春樹 氏 ・ワークショップ (株)DXパートナーズ 代表取締役 村上 和彰 氏 同 アドバイザリーパートナー 徳永 美紗 氏 ・交流会



(2)九州ネクストリーダー塾

中小企業や団体の経営幹部及びネクストリーダー層を対象として、「DXとオープンイノベーション」をテーマに、経団連が提唱する「起承転結」人材モデルを育成するための『九州ネクストリーダー塾2022』を開催した。

ビジネスモデル編ではグローバル化・デジタル化が進む経済社会の変化や事業ドメインの再定義など、今後の経営改革や新規事業を立案する構想力と実行段階で不可欠な行動力について、具体的な事例研究を通して理解を深めるとともに、スキル・ツール編ではネクストリーダーに必要なデータサイエンスとサイバーセキュリティの基礎を学んだ。全てオンラインでの開催とし計6回実施し、延べ531名が参加した。

アンケートでは、総合評価として回答者の71%が「非常に満足」、「満足」と回答した。参加者からは「グループディスカッションで異なる意見を聞くことができて良かった。」、「具体的な事例が多く良かった。」との良好な意見の一方で、「時間が足りなかった。」、「もう少し深掘りできたら」などの意見があり、来年度へ向けた課題の発見にもつながった。

回数	開催日	内容
第1回	8月2日 8月9日	ビジネスモデル編 「イノベーションとアントレプレナーシップ」 講師：九州大学大学院教授 高田 仁 氏 参加者合計：191名
第2回	8月23日 8月30日	スキル編 「データサイエンス基礎」 講師：(株)AIBOD CEO 松尾 久人 氏 " CTO トルヴェ・アントワン 氏 参加者合計：191名
第3回	9月6日 9月13日	ツール編 「サイバーセキュリティ脅威対策の基礎」 講師：九州大学サイバーセキュリティセンター長 岡村 耕二 氏 参加者合計：149名

九州ネクストリーダー塾2022

～DXとオープンイノベーション～

【参加者募集・参加費無料】

はじめに

九州オープンイノベーションセンターでは、「DX推進イノベーション・フォーメーション」(オープンイノベーション)をテーマに、今年度も九州ネクストリーダー塾をオンライン開催いたします。体系的かつ継続性のあるプログラムとなっておりますので、全3回の受講をお勧めいたします。

目的

今日、世界の産業や社会のあり方は大きく変わろうとしており、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、その勢いは一気に加速しようとしています。第四次産業革命と呼ばれるAI・IoT・ビッグデータ・5G等のデジタル技術の革新やグローバル化の急速な進行により、新たな付加価値や製品・サービスが生まれ、企業の販売方法も大きく変わり、サービスと運動するソリューションの形へ移行しています。

当センターでは、日本が直面する経済社会の課題や等々る組織等の課題を正しく認識し、グローバルな視点で、デジタルを活用し、コミュニケーションにより組織を活性化させ、自社・連携先・顧客とのネットワークを形成しながら、置かれている現状を改善(トランスフォーメーション)しようとする意思を持ったネクストリーダーの育成を目指します。

カリキュラム(全3回6週 オンライン開催)

回	講座タイトル	講師	開講日時	講義内容	
第1回	イノベーションとアントレプレナーシップ	九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント部門教授 高田 仁 氏	1日目	8月2日(火) 15:00-17:00	【参加者向け】 九州オープンイノベーションセンター会長 高田 仁 氏 イノベーションとは アントレプレナーシップとは
			2日目	8月9日(火) 15:00-17:00	【事例研究】 データを駆使する データサイエンスとビジネス
第2回	データサイエンス基礎	株式会社AIBOD 代表取締役/CEO 松尾 久人 氏 取締役/CTO トルヴェアントワン 氏	1日目	8月23日(火) 15:00-17:00	データ駆使する データサイエンスとビジネス
			2日目	8月30日(火) 15:00-17:00	IPAI情報セキュリティ10大脅威2022の 脅威によるサイバーセキュリティ対策 および対策について(個人への脅威)
第3回	サイバーセキュリティ 脅威対策の基礎	九州大学 サイバーセキュリティセンター センター長・教授 岡村 耕二 氏	1日目	9月6日(火) 15:00-17:00	IPAI情報セキュリティ10大脅威2022の 脅威によるサイバーセキュリティ対策 および対策について(個人への脅威)
			2日目	9月13日(火) 15:00-17:00	IPAI情報セキュリティ10大脅威2022の 脅威によるサイバーセキュリティ対策 および対策について(個人への脅威)

定員 オンライン 100名 (ZOOMを用います)

主催 一般財団法人 九州オープンイノベーションセンター

共催 九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター
九州大学 サイバーセキュリティセンター
株式会社AIBOD
AKビジネスデザイン

九州ネクストリーダー塾 講師紹介

◆ 第1回

九州大学 大学院 経済学研究院 産業マネジメント部門 教授 高田 仁 氏

【専門分野】工学連携マネジメント、技術移転、技術経営 (MOI)、アントレプレナーシップ
【プロフィール】
九州大学工学部卒業後、大手メーカーに勤務。九州大学大学院工学研究科博士課程修了、2014年同大学院にて学術研究助教授(博士)となり、2016年同大学院の准教授に就任。1999年から2002年まで(株)光研科学技術イノベーションセンター (CASTI, 現東大ITO) 取締役副社長(専任COO)、2003年九州大学大学院システム工学研究科准教授、同年10月から2010年まで九州大学大学院情報本部技術移転グループリーダーを兼務。2005年から2010年まで部長特別補佐、2007年九州大学システム工学専攻准教授。計、2009年から翌年まで米国MIT (マサチューセッツ工科大学) 客員研究員、2010年から九州大学ITイノベーション・プラットフォームセンター准教授。2014年九州大学システム工学専攻教授。2015年4月～2017年3月産業マネジメント専攻長。



◆ 第2回

株式会社AIBOD 代表取締役/CEO 松尾 久人 氏

【専門分野】ITシステム及び半導体領域のシステム開発、IT導入コンサルティング、量子コンピュータ
【プロフィール】
九州大学大学院システム工学研究科博士課程修了、同専攻専攻副学長(専任)後、1998年4月日本電子(株)エム株式会社入社。2014年1月～九州大学 共通化システム推進拠点リーダー(専任)として、2016年株式会社エムAIBOD (現株式会社AIBOD) を設立し代表取締役社長、同年6月株式会社エムAIBODを退任し、同専攻専攻副学長。2018年株式会社エムAIBODを再設立し専任代表取締役社長に就任。2020年10月より九州大学大学院情報学部教授に就任。現在に至る。コンピュータのドメイン領域の業績は同専攻からシステムまでが顕著で、同専攻の発展に貢献し、素子レベルからアプリケーションまで構築している。社内外で学術・人材育成 (AIを含む最先端技術を活用した社会貢献 (都市OS) のコンセプト、ビジネスモデルなどの開発) に関与し、技術の活用化の知見を蓄積。創業したAIBODでは、先端AI技術を活用した開発と事業化を進めている。これまでの知見の活用を業界的知識有識者会 AIBOD Academy で企業家を支援している。



◆ 第2回

株式会社AIBOD 取締役/CTO トルヴェアントワン 氏

【専門分野】AI、画像処理、自然言語処理、コンピュータサイエンス、システムアーキテクチャ、スーパーコンピュータ開発/評価/評価、IoT/クラウド/セキュリティ技術、ビッグデータ/オープンデータ/自動マシニング/解析/可視化
【プロフィール】
2008年フランスのIT企業であるENSEIRB-MATHECA Bordeaux大学にて修士課程修了。2007年7月から九州大学システム情報科学研究科 博士後期課程修了(博士(工学))
2014年4月から九州大学システム情報科学研究科 助教授、サイバーセキュリティ専攻准教授。
2011年9月から九州大学システム情報科学研究科 博士後期課程修了(博士(工学))
2016年4月株式会社エムAIBOD (現株式会社AIBOD) 入社、CTOに就任。
2019年7月から株式会社エムAIBOD (現株式会社AIBOD) 取締役/CTOを務め現在に至る。現在まで、上述専攻の専攻研究を中心に幅広く従事している。AIBODでは技術チームの牽引としてプロジェクトとそのメンバーをリードしている。



◆ 第3回

九州大学 サイバーセキュリティセンター センター長・教授 岡村 耕二 氏

【専門分野】 先端ネットワーク技術、ネットワーク運用、管理技術、サイバーセキュリティ対策技術。
【プロフィール】九州大学大学院工学研究科博士課程修了、大手メーカーに勤務。奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学を経て1998年の九州大学情報処理教育センター助教授、組織の発展を推進し、ネットワーク運用、サイバーセキュリティ専攻准教授に就任。2011年の九州大学情報基礎研究開発センター教授。2014年のサイバーセキュリティセンター長、九州大学副学長(CSO) (副 副学長兼サイバーセキュリティ責任者)、2020年より九州大学副学長、CSO (副 副学長兼サイバーセキュリティ責任者) に就任。2015年より情報処理教育センター長に就任。2019年よりサイバーセキュリティセンター長に就任。2022年の九州大学情報基礎研究開発センター長、九州大学のDXの安全な推進に就任。



(3)若手研究者海外研究交流支援事業

九州の若手研究者の国際的な感覚や海外との人的ネットワーク構築により九州の研究分野のグローバル化を図るため、大学・高専に所属する工学系・理学系の若手研究者の長期・短期留学および国際研究集会参加を支援するため、外部委員で構成する選考委員会で選考の結果、7件の研究発表を採択した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、海外渡航の自粛を受けて、1名の発表者がオンラインでの参加となったため、国際研究集会の参加費用を助成した。

区分	発表件名/発表者所属・役職	渡航先	渡航期間	備考
国際研究集会 (前期)	窒素ファインバブルの生成時間が異なるパーマヤシ脂肪酸エステルとの交流および負極性雷インパルス電圧 (福岡大学 大学院工学研究科 博士課程前期 1年)	パレルモ (イタリア)	8日間	現地発表
	ポリアクリル酸ナトリウムの固体電解質電気二重層キャパシタの特性 (福岡工業大学 大学院工学研究科博士課程前期 2年)	青島 (中国)	4日間	オンライン発表
国際研究集会 (後期)	マイクロストリップ給電回路を活用した円偏波可変リングスロットアンテナ (佐賀大学 大学院理工学研究科 博士課程後期 1年)	シドニー (オーストラリア)	5日間	現地発表
	PLD法で作成した異方性Nd-Fe-B系磁石膜にレーザーパワーが与える影響 (長崎大学 総合生産科学域 (工学系) 助教)	ミネアポリス (米国)	7日間	
	電界領域 10^{-11} から 10^{-2} V/m にわたる電界-電流特性の連続計測 (九州大学 大学院システム情報科学研究科 助教)	ホノルル (米国)	8日間	
	ポリビニルアルコールを用いた掘削泥水の膨潤機構の制御について (九州大学 大学院工学府 博士課程後期 1年)	アデレード (オーストラリア)	5日間	
	磁性合金の選択的合成のための磁場応用 (鹿児島大学 大学院理工学研究科 准教授)	フコック島 (ベトナム)	4日間	

5. 情報提供事業

(1)WEB サイト等による情報発信

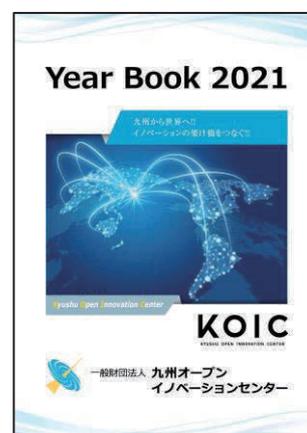
ホームページ（TOPスライダーでのイベント案内、POPアップ広告、SEO対策※）、メルマガ、FacebookやYouTube等のSNSを利用し、KOICの事業、研究会での調査結果、関連イベント情報やニュース、セミナーの動画配信等情報提供を行った。

主な内容	HP更新：38回、メルマガ配信（定期）：25回、メルマガ配信（事業個別）：44回、Facebook配信：19回、他
------	---

※ Search Engine Optimization の略で、検索サイトでの検索結果で自社のWebサイトを上位に表示させる対策のこと

(2)活字媒体による情報発信

KOICの令和3年度活動内容と成果、研究会等での調査結果等をまとめた「KOIC年報（Year Book2021）（令和4年6月発行）」を作成し、役員、賛助会員、訪問企業等に配付した。



6. 収益事業

(1)成功報酬型コーディネート事業

成功報酬型コーディネータが多方面から企業情報を集め、事業課題を抱える中小企業に出向き、経営層と面談して、合意の上で、事業計画の策定から知財戦略・販路の探索とマッチングまでを伴走型で支援するコーディネート事業を平成27年度から実施している。

具体的には、成功報酬型コーディネータが企業に対し、定期的なコンサルタント、知財の取得と売却、試作の実施、利益の発生等、コーディネート活動が成功した場合、KOICが報酬を受け取る成功報酬事業であり、成功報酬型コーディネータと経営層との信頼関係と緊張感を備えた実践的かつ継続的なコーディネート事業である。

今年度はコロナ禍という制約の中、203件のコーディネート活動を行い、13件（うち新規2件）の契約により、460万円の成功報酬収入があった。なお、KOICが受け取った成功報酬額のうち30%は、規定に基づき成功報酬型コーディネータが受け取っている。

① 活動実績

区分	令和4年度 (件数)	内容
新規企業発掘	21	優位な技術を有し、新製品開発・市場開拓を目指す中小企業の調査・発掘等
契約前 プレ支援事業	40	要素技術・コア技術の発掘 事業化の課題等の抽出と解決方法等の提示 知財の有効活用等の提示等
契約後支援事業	142	事業化計画の検討 知財活用先、試作先、共同開発相手、販売先等の探索と交渉 成功報酬契約項目の実践等
合計	203	-

② 成功報酬型の契約と報酬実績

コロナ禍でも積極的に活動し、2件の新規契約を行った。

契約を継続している11件のうち9件は、月1～2回訪問やWeb等で相談、アドバイスを
行い成功報酬を獲得した。2件は具体的な支援課題が現在は無く、契約更新を一旦停止中。

資金獲得支援を実施した6件のうち4件については、経済産業省「事業再構築補助金」に
採択され、事業が円滑に進むよう支援を行っている。

■ 成功報酬額

成功報酬額 (千円)	令和4年度
	4,600

■ 令和4年度新規契約 2件

企業	支援事業	支援内容	成功報酬 (一部)
A社	資金獲得支援	・ 資金(補助金等)獲得のための申請に係る支援	・ 着手金 10万円×2か月 ・ 獲得資金の10%
B社	資金獲得支援	・ 資金(補助金等)獲得のための申請に係る支援	・ 着手金 10万円×2か月 ・ 獲得資金の10%

■ 平成27年度～令和3年度契約分 11件 (継続契約)

企業	支援事業	支援内容	成功報酬
C社	販路開拓支援	・ 製品化支援 ・ 製品販売	・ 試作品開発 15万円/件 ・ 当該製品の利益の10%
D社	ロボット開発支援 新規事業に係る支援	・ 試作品の開発 ・ 特許等の知財対応 ・ 量産体制の構築 ・ 製品販売 ・ フランチャイズマッチング支援 ・ 販路開拓支援	・ 試作品完成時 50万円 ・ 特許登録時 5万円/件 ・ 量産ライン完成時 50万円 ・ 当該製品の利益の20% ・ マッチング契約 50万円/件 ・ 建築契約の利益の20%
E社	新規事業に係る支援 販路開拓支援 事業購入	・ 開発コンサル ・ 顧客開拓 ・ 許認可取得支援	・ 開発コンサル料 50万円/年 ・ 当該製品のロイヤリティの10% ・ 事業買収金額の10% ・ 医療許認可申請 5万円/回
F社	事業化支援	・ 原価計算 ・ 製造技術管理 ・ 試作費用計算	・ 試作事業に関わる売上の20% ・ 当該事業のロイヤリティの20%
G社	知財戦略 新規事業に係る支援 資金獲得支援	・ 知財戦略の立案、実行 ・ 資金(補助金等)獲得のための申請に係る支援	・ 10万円/月 ・ 獲得資金の5%
H社	事業化支援	・ 販路開拓支援 ・ 知財戦略支援	・ 開発製品の利益の15% ・ 特許出願 3万円/件

I 社	事業化支援 資金獲得支援	<ul style="list-style-type: none"> ・製品開発支援 ・事業化マネジメント ・新事業創出 ・資金獲得申請支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・10万円/月 ・獲得資金の5%
J 社	事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・製品開発支援 ・事業化マネジメント ・新事業創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・10万円/月（4か月） ・具体的支援内容発生まで一旦停止中
K 社	共同研究開発・技術提携支援 事業有償譲渡	<ul style="list-style-type: none"> ・資金提供契約支援 ・有償譲渡契約支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供支援、提携料の20% (10万円/月(3ヶ年) 契約中)
L 社	資金獲得支援	<ul style="list-style-type: none"> ・資金(補助金等)獲得のための申請に係る支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・着手金 10万円×2か月 ・獲得資金の10%
M 社	資金獲得支援	<ul style="list-style-type: none"> ・資金(補助金等)獲得のための申請に係る支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・着手金 10万円×2か月 ・獲得資金の10% ・具体的支援内容発生まで一旦停止中

(2)産業技術事業化支援事業

K O I C職員がコーディネータと協働して、九州の研究開発型企业に対し継続的にコンサルティング等を行い、製品開発、販売促進の支援を行う事業。

企業	支援内容	令和4年度 報酬額 (千円)
N 社	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルの検討 ・マーケティング戦略の立案および販売促進等事業化支援 	492

戦略産業の振興（2022年度のK-RIP、HAMIQ、SIIQの事業概要）

●九州成長産業戦略を実現すべく、クリーン（環境・エネルギー）、ヘルスケア（医療機器・サービス）及び全国の生産額国の約3割を占める半導体産業の新事業創出を支援するため、各推進組織（K-RIP、HAMIQ、SIIQ）における情報提供、研究会、マッチング、技術開発、販路拡大、海外展開等の新事業創出事業を支援した。

(2023.3.31 現在)

産業分野		環境・エネルギー	医療機器・サービス	半導体・エレクトロニクス
推進組織		K-RIP 九州環境エネルギー産業 推進機構	HAMIQ 九州ヘルスケア産業 推進協議会	SIIQ 九州半導体・エレクトロニクス イノベーション協議会
会 員		・総数 276 うち有料会員 211	・総数 169 うち有料会員 98	・総数 280 うち有料会員 276
体 制		・部長、部長 ・マネージャー 1人	・部長、次長 2人 ・マネージャー等 3人	・部長、部長 ・マネージャー等 3人
実 施 事 業	会 費	総会・役員会・講演会 エコ塾（年4回） ASEAN 交流事業（インドネ シア及びベトナムへのミッ ションの派遣等）	総会・幹事会・講演会 ヘルスケア産業づくり貢献 大賞 情報誌ヘルスケアNEXT発刊 九州アライアンス会合開催 会員企業の相談・支援	総会・講演会、会員交流会 高専・工業高校出前授業 大手企業とのマッチング 海外展開支援
	外 部 資 金	① カーボンニュートラルに つながる海外事業展開の 支援 ・台湾へのミッションの 派遣等 ② 環境関連企業のベトナム、 タイにおける事業展 開の支援 ・WEB セミナーの開催 等 ③ グリーンテック関連企業 のインドネシアにおける 事業展開の支援 ・オンライン商談会の開 催等 ④ 循環型経済・農業関連企 業のベトナムにおける事 業展開の支援 ・オンライン商談会、セ ミナーの開催等	① 医工連携による医療機器 発・部材開発の支援 ・医療機器製造業と医療 現場のマッチング (Web マッチング) ・開発案件の販路開拓 (学会の展示会)、協 業企業とのマッチング ② 大学発開発案件の事業化 コンサルティング ③ 公的助成金申請支援 ・Go-TECH、AMED 等 ④ 医療機器開発支援人材育 成プログラム ⑤ 医療業界基礎知識の動画 コンテンツ作成・公開 ⑥ 九州各県の自治体・大学 との連携強化 ⑦ 企業の優れた技術を写 真・動画で発信	① 人材の育成と確保 ・九州半導体関連産業が 必要とする人材に関す る情報収集及び課題を 分析・整理した。 ② サプライチェーンの強靱 化 ・半導体企業のサプライ チェーン構築支援を行 い、九州半導体産業の 取引強化につなげると ともに、サプライチェ ーンにおける現状、課 題を明確にした。

※ SIIQ は 2023 年 4 月 3 日、「一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会」に改組されました。



KOIC
KYUSHU OPEN INNOVATION CENTER

一般財団法人

九州オープンイノベーションセンター

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番24号

総務部 TEL 092-411-7391 (代) FAX 092-472-6609

技術振興部 TEL 092-411-7394 FAX 092-472-6688

イノベーション推進部 TEL 092-411-7354 FAX 092-472-6609

URL <https://www.koic.or.jp/> E-mail info@koic.or.jp



九州環境エネルギー産業推進機構 (K-RIP)

Kyushu Renewable Energy and Environmental Industry Promotion Association

〒812-0008

福岡市博多区東光2丁目7番25号 [株式会社正興電機製作所 本社ビル内]

TEL 092-474-0042 FAX 092-985-0055

URL <https://k-rip.gr.jp> E-mail info@k-rip.gr.jp

九州ヘルスケア産業推進協議会 (HAMIQ)

The organization to promote the Health-Care And Medical device Industry in K(Q)yushu

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2丁目13番24号 [(一財)九州オープンイノベーションセンター内]

TEL 092-411-7450 FAX 092-472-6609

URL <https://hamiq.koic.or.jp> E-mail hamiq.info@koic.or.jp

賛助会員制度のご案内

当財団は、九州地域の産業技術振興事業等を円滑に推進するために、賛助会員制度を設けています。
活動趣旨にご賛同の方は、是非賛助会員にご入会いただきますようお願い申し上げます。

◎ 会費*

1口10万円(1口以上)

※会費期間は4月～翌3月までの1年間です。

◎ 入会手続き

下記のホームページから「入会申込書」をダウンロードいただくか、
または、センター事務局(092)411-7391にご連絡くだされば「入会
申込書」をお送りいたします。

<https://www.koic.or.jp/outline/application/>